

岩手県内遺跡発掘調査報告書

(平成24年度 国庫補助事業)

岩 手 県 教 育 委 員 会

序

平成23年3月11日に発生した東日本大震災津波から既に3年が経過しました。今年度は、岩手県が策定した復興基本計画において第1期・基盤復興期間の最終年度にあたり、復興事業の進捗状況や県民の皆様のご意見を受けて事業見直し・追加を行いながら、未曾有の災害により甚大な被害を受けた沿岸市町村の復興を加速化すべく取り組んでいるところです。次年度からは復興計画第2期として本格的な沿岸復興の実現を図ってまいります。このような中、地域の歴史を伝える埋蔵文化財を沿岸復興にどのように生かしていくのか、大きな課題となっております。

当教育委員会では今年度、文化庁の調整の下、8道府県から専門職員の派遣をいただいて、復興事業にともなう埋蔵文化財調査を速やかに行うとともに、沿岸市町村の要請を受けて専門職員の派遣を実施する等、埋蔵文化財調査の円滑な実施に努めております。今後も国・他都道府県の御支援をいただきながら、本格化していく復興事業の中、埋蔵文化財調査により得られる様々な知見が地域社会再興の糧となるよう尽力してまいります。

『岩手県内遺跡発掘調査報告書』は、県内に所在する遺跡の周知ならびに開発事業との調整の中で行った諸調査の記録提示を目的として、平成元年度から当教育委員会が年次発刊してきたものです。本書には、平成24年度に実施した発掘調査、試掘及び分布調査のうち、復興関連事業を除いた通常事業に係る調査成果をまとめております。本書が広く活用され、埋蔵文化財保護に役立てば幸いです。

最後になりましたが、調査および報告書作成にご指導とご協力をいただきました関係機関・関係各位に厚く感謝申し上げます。

平成26年 3月

岩手県教育委員会

教育長 菅野洋樹

目 次

序

例言

凡例

I 発掘調査	1
1 東北横断自動車道釜石秋田線（深沢野Ⅰ遺跡）	2
2 経営体育成基盤整備事業南下幅北部地区（石田Ⅰ・Ⅱ遺跡）	6
3 経営体育成基盤整備事業六原地区（赤石遺跡）	8
4 村道城内二又線改良舗装事業（中平遺跡）	10
遺物観察表（1）	15
II 試掘調査	17
1 宮古盛岡横断道路一般国道106号都南川日道路（田ノ沢B遺跡）	18
2 一般国道4号盛岡北道路（狼久保Ⅲ遺跡）	19
3 宮古姉ヶ崎集団施設地区野営場敷地造成工事（姉ヶ崎遺跡）	20
4 地域連携道路整備事業（大宮遺跡）	21
5 地域連携道路整備事業（赤川Ⅱ遺跡）	22
6 地域連携道路整備事業（八幡沖遺跡）	23
7 地域連携道路整備事業一般国道106号宮古西道路（田舎車堂前遺跡）	24
8 経営体育成基盤整備事業六原地区（町の内道下遺跡、町の内道上遺跡）	25
9 経営体育成基盤整備事業石山地区（松川遺跡、御免遺跡、石山遺跡、大日前遺跡）	26
10 経営体育成基盤整備事業都鳥3期地区（漆町遺跡、清水下遺跡、二本木遺跡）	28
11 経営体育成基盤整備事業小瀬川地区（小瀬川Ⅰ遺跡）	31
12 経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区（伍坂Ⅰ遺跡、伍坂Ⅱ遺跡、欠ノ下台地遺跡、六軒遺跡）	32
13 経営体育成基盤整備事業日形地区（小野遺跡、町裏Ⅰ遺跡、町裏Ⅱ遺跡）	33
14 農地等災害復旧事業（相川Ⅰ遺跡）	35
15 大規模太陽光発電所建設事業（相去遺跡）	36
16 警察施設灾害復旧事業（宮野貝塚）	37
試掘調査出土遺物	38
遺物観察表（2）	40
調査一覧	41
1 発掘調査	41
2 試掘調査	41
3 分布調査	43
4 工事立会	47
写真図版	48
報告書抄録	

例　　言

- 1 本書は岩手県教育委員会が平成24年度に実施した県内遺跡調査事業に係る調査成果の概要報告である。
- 2 本事業は岩手県教育委員会が調査主体となり、(公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター(以下、県埋蔵文化財センターと略記する)及び関係市町村教育委員会の協力を得て、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課埋蔵文化財担当が行った。
- 3 遺跡位置図は、国土地理院発行『数値地図25000(地図画像)』(CD-ROM版)を使用した。
- 4 発掘調査の調査区位置図、試掘調査の調査図等は各事業者から提供された工事計画図・地形図等を原図として作成した。
- 5 遺跡位置図・調査区位置図等においては、遺跡範囲をアミフセ、トレンチ・調査区をシロヌキでそれぞれ示した。
- 6 発掘調査については調査成果の概要を記載した。
- 7 発掘調査の遺物実測図は遺跡別に、試掘調査の遺物実測図は一括して掲載した。また遺物観察表は各章末に一括して掲載した。
- 8 遺構・遺物実測図の掲載は、遺構については1/40または1/60、遺物については1/3を原則とし、スケールを付した。実測図の表現は凡例のとおりである。
- 9 写真図版は、紙幅の関係から主な遺構・遺物を選択して掲載した。掲載縮尺は、遺構については任意、遺物については約1/3である。
- 10 岩手県岩手郡滝沢村は、平成26年1月1日をもって市制へ移行し滝沢市となった。平成24年度時点では滝沢村であるが、本書では現在の自治体名である滝沢市と表記することとする。
- 11 平成24年度、復興事業に伴う埋蔵文化財調査の増加が予想されたことから、文化庁の調整の下、当教育委員会では10道府県から各1名、計10名の専門職員の派遣を受けた。平成24年度の調査体制は次のとおりとした。

<埋蔵文化財担当総括> 文化財専門員 菅常久 <予算・経理> 主査 関敏和
<通常事業担当> 文化財専門員 千葉正彦・佐々木務(25年1月～)・戸根貴之
<復興事業担当> 文化財専門員 半澤武彦・岩測計(24年8月～、陸前高田市へ派遣)・晴山雅光・相原伸裕・佐藤淳一(世界遺産担当兼務)・臨時職員 千葉剛史(24年10月～)
〔派遣専門職員〕文化財専門員 藤原秀樹(北海道)・永嶋豊(青森県)・宇田川浩一(秋田県)・深澤敦仁(群馬県)・上席文化財専門員 安井健一(千葉県)・文化財専門員 田村隆太郎(静岡県)・北原治(滋賀県)・横田明(大阪府)・長谷部善一(熊本県)・平美典(鹿児島県)
* () は派遣元の道府県
- 12 本書には、埋蔵文化財緊急調査費国庫補助の交付を受けて実施した通常事業関係調査を収録した。野外調査・室内整理は主として千葉(正)・佐々木・戸根が担当し、報告書作成・編集は千葉(正)が行った。なお、復興事業関係の調査については、第139集として別途刊行した。
- 13 本事業の調査記録及び出土品は、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課が保管している。

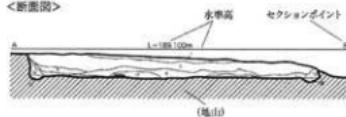
凡　例

遺構図の表現

<平面図>

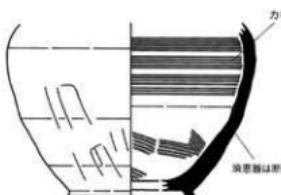
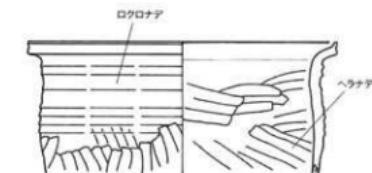
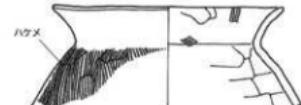


<断面図>



遺物実測図の表現

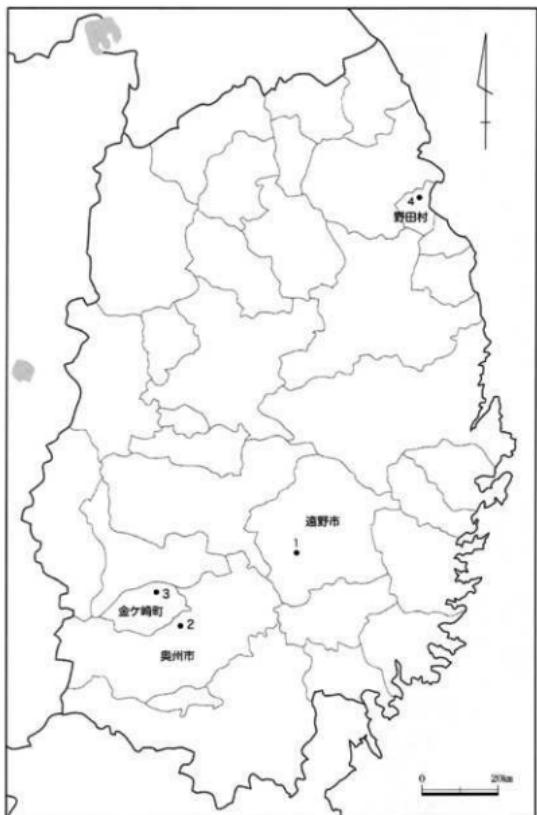
<土器器・須恵器>



<礫石器>



I 発掘調査



発掘調査

- 1 深沢野Ⅰ遺跡（遠野市）
- 2 石田Ⅰ・Ⅱ遺跡（奥州市胆沢区）
- 3 赤石遺跡（金ヶ崎町）
- 4 中平遺跡（野田村）

1 東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～東和）

深沢野Ⅰ遺跡（MF53-0276）

所在 地：遠野市綾織町下綾織地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

調査日：平成24年7月6日(金)～7月11日(水)

深沢野Ⅰ遺跡はJR釜石線綾織駅の南西約1.6km、北の猿ヶ石川沿いの低地へと張出す尾根部に占地している。当遺跡の東側には新田沢を挟んで新田Ⅱ遺跡が隣接する。新田Ⅱ遺跡との間には北流する新田沢の浸食作用によって形成された幅広い谷が介在しているが、この谷の底面には縄文時代後期以降の河道変遷の痕跡が複数存在しており、沢跡の埋土に多量の遺物が含まれている。この部分の発掘調査は県埋蔵文化財センターにより平成23年度から2か年にわたって実施された。

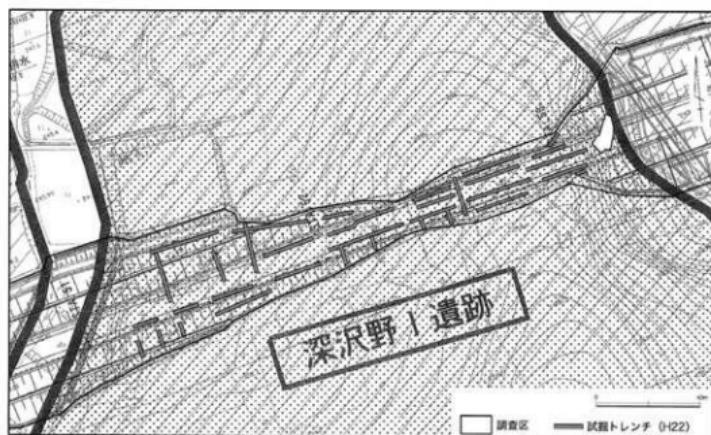
東北横断自動車道建設に係る当遺跡の調査は既に平成22年度に当課が試掘調査を実施し、何らの遺構・遺物も確認されなかったため、埋蔵文化財への影響なしとして回答したところである。しかし、工事に伴う新田沢の河道切替に係る試掘調査を実施した際、新田沢に面する斜面で縄文土器片が採取され、斜面下部の黒色土層に遺物が含まれていることが判明したことから急速発掘調査を実施したものである。調査地の現況は山林である。

調査区の基本層序は次のとおりである。I層：盛土（層厚0～70cm。作業路造成時の盛土）。II層：暗褐色シルト（層厚10～20cm。旧表土）。III層：黒褐色シルト（層厚0～60cm。縄文時代の遺物を含む）。IV層：にぶい黄褐色シルト（層厚20～30cm。斜面上部からの崩落土）。V層：黄褐色粘質シルト（層厚40～50cm。地山）。VI層：褐灰色風化花崗岩（層厚不明。基盤層。地山）。

調査地中央付近にあたる部分に小規模な谷状の落込みが見られ、この部分のⅢ層土が縄文時代の遺



第1図 深沢野Ⅰ遺跡位置



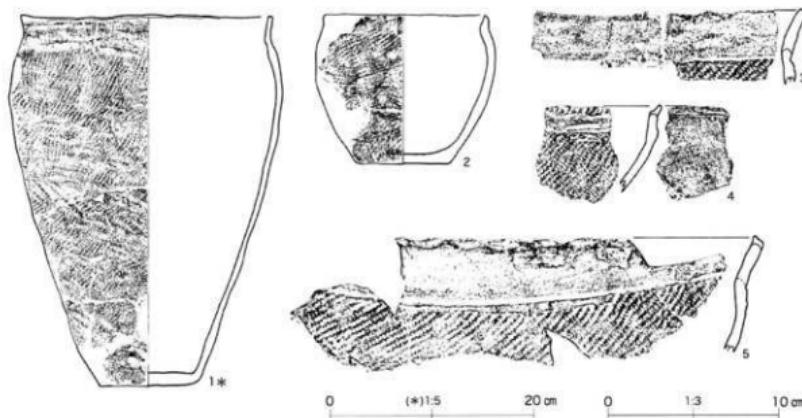
第2図 深沢野Ⅰ遺跡調査区

物包含層となっていた。出土遺物は縄文土器を主体として、少量の石器および土製品が含まれる。総量は、40ℓコンテナで1.5箱分である。出土土器は粗製のものが大多数を占めており、文様が施されたものが少ないと時期が特定できないが、器厚や焼成の状態等から後期～晚期の土器群であると捉えられる。詳細な時期は特定が難しいが、文様がわかる個体には羊齒状文や三叉文が見られ、晩期に属するものが多いと思われる。これらの土器は層位的に良好な捨て場という訳ではなく、斜面上部からの土砂崩落により後・晚期の土器が混在する形となっていると推測される。

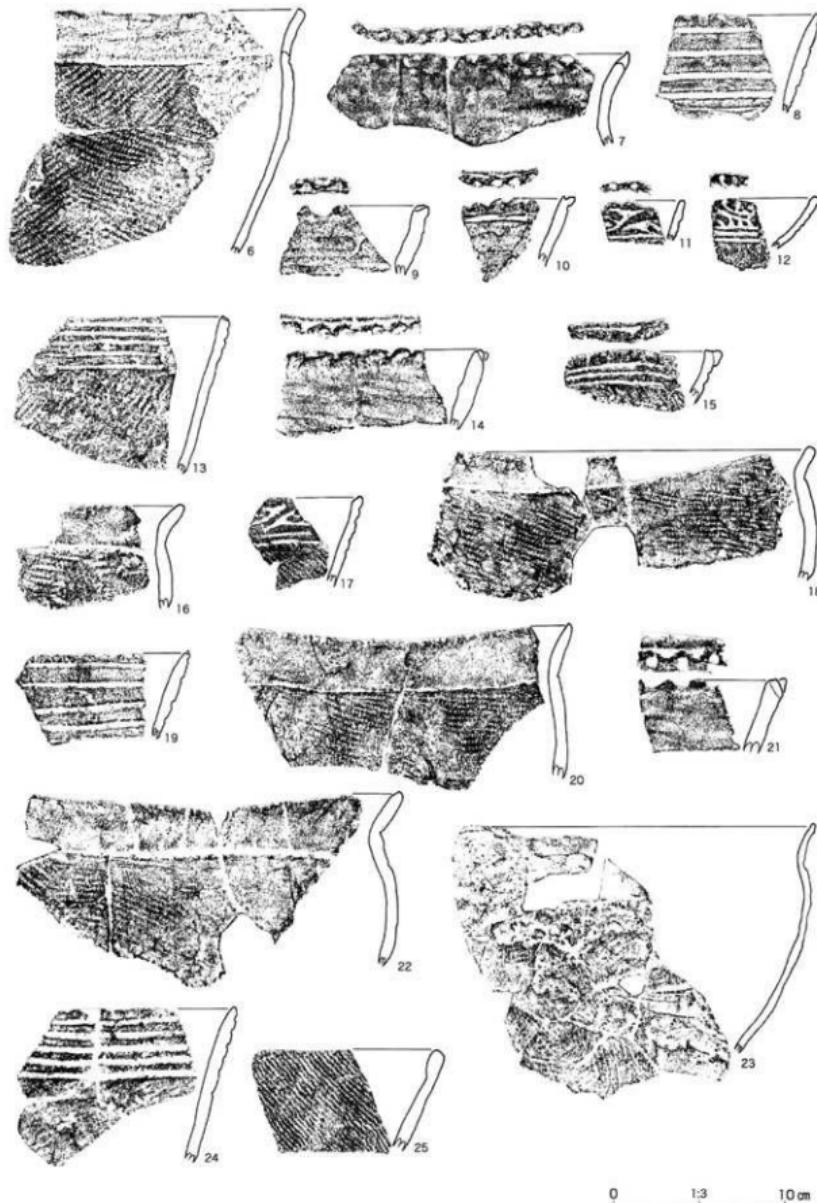
今回の調査で沢沿いの傾斜面で遺構・遺物が確認された。試掘調査において路線内の尾根上では遺構・遺物は確認されなかったことから、今回検出された遺物の出所が何処なのか、という点が問題となる。路線の北側に隣接する山林では遺物が表採でき、この部分に縄文時代の集落が存在している可能性がある。また、路線内の尾根上にも本来、遺構・遺物が存在していたが、人為的な地形改変により消失したものかもしれない。県埋文センター調査区の多量の出土遺物と同時期の土器が出土していることから、両遺跡の関連性についての検討が必要である。



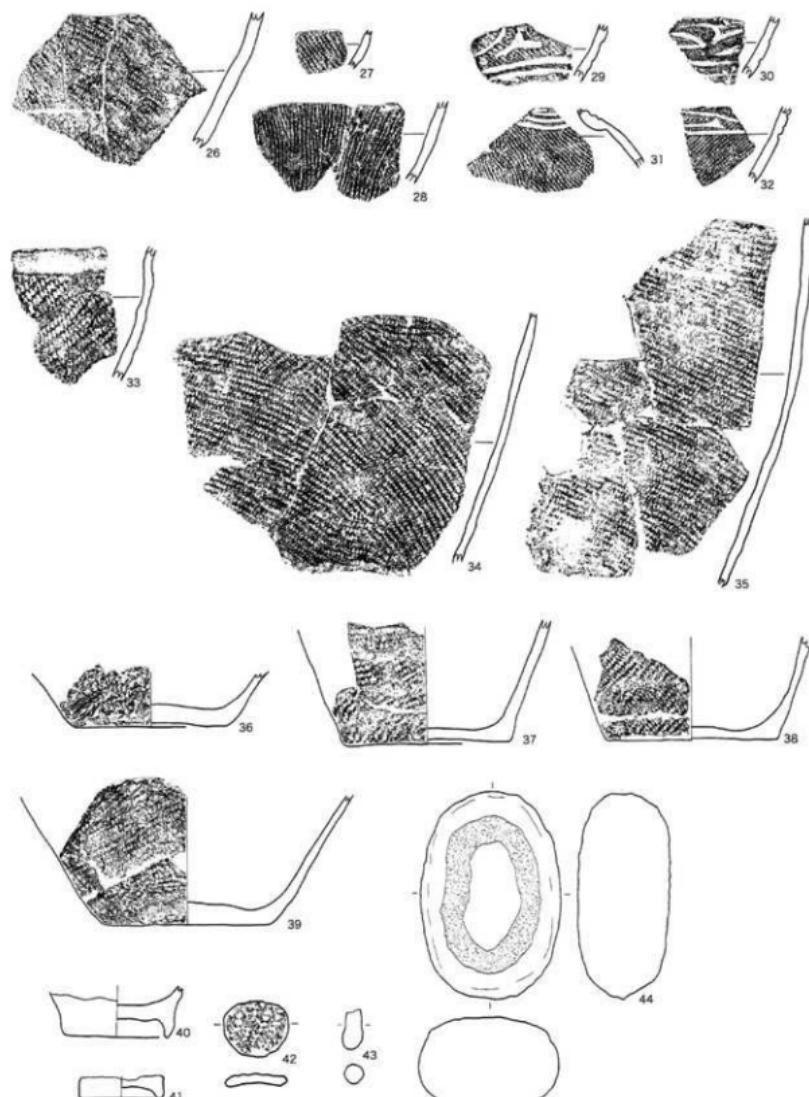
第3図 深沢野Ⅰ遺跡調査範囲



第4図 深沢野Ⅰ遺跡出土遺物（1）



第5図 深沢野Ⅰ遺跡出土遺物（2）



※ 45は残核（写真掲載）

第6図 深沢野Ⅰ遺跡出土遺物（3）

2 経営体育成基盤整備事業南下幅北部地区

石田Ⅰ・Ⅱ遺跡 (NE15-2308)

所在 地：奥州市胆沢区南都田字石田地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成24年9月24日(月)～9月26日(水)

石田Ⅰ・Ⅱ遺跡は奥州市役所の西約2.8kmに位置する。遺跡は胆沢扇状地の扇尖部北側、胆沢川右岸の下位砂礫段丘面に所在している。遺跡周辺は水田地帯であるが、水田面には島状の微高地が点在し宅地化している。当遺跡の一帯について県埋蔵文化財センターによる発掘調査が行われており、古墳時代から平安時代までの集落跡であることが判明している。

今回は既存現道を横断する排水路工事に係り、工事範囲を対象として発掘調査を実施した。調査地の東西両側については県埋蔵文化財センターの調査において竪穴住居跡が複数検出されており、現道部分にも遺構が続いていると予想されたものである。調査区の基本層序は次のとおりであった。Ⅰ層：碎石・盛土（層厚40～60cm。現道敷きの盛土）。Ⅱ層：暗褐色シルト（層厚0～15cm。住居跡の埋土か）。Ⅲ層：黒褐色粘質土（層厚10～25cm。湧水により泥化。古代の遺物を疎らに含む）。IV層：青灰色シルト（層厚不明。砂質。地山）。

調査の結果、竪穴住居等の遺構は明確には捉えられなかった。調査地帯の南壁の断面図を参照すると、現道敷きの盛土が厚くなされている。盛土層直下に暗褐色土層（Ⅱ層）がごく一部で確認できるが盛土層により大部分が切られて消失している。この暗褐色土が竪穴住居跡の埋土だった可能性もあるが、はっきりしない。以下、黒褐色土（Ⅲ層）、青灰色土（IV層）となっているが、Ⅲ層下位で土師器片が出土しており（9号ビニール袋で1袋分）、当該層が遺物包含層となっているこ

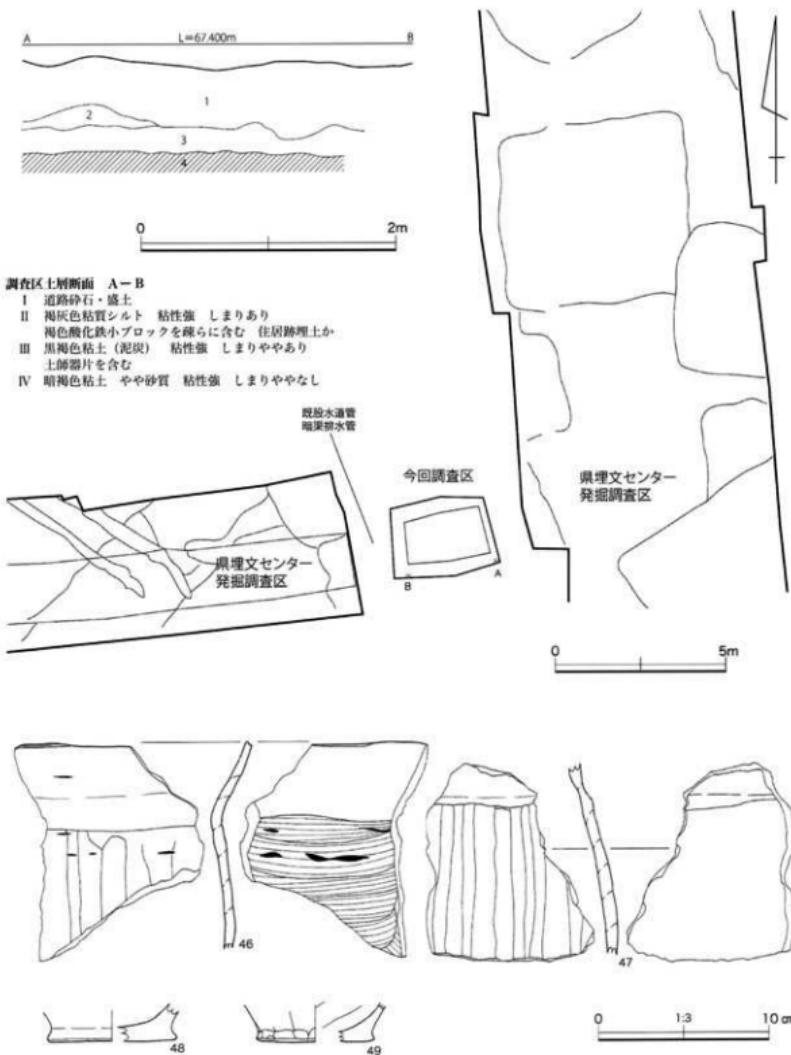


第7図 石田Ⅰ・Ⅱ遺跡位置



第8図 石田Ⅰ・Ⅱ遺跡調査区位置

とがわかった。当初予想された竪穴住居の痕跡は、現道路の設置時に予想以上に攪乱を被っているため、確認できなかった。



第9図 石田Ⅰ・Ⅱ遺跡調査区・出土遺物

3 経営体育成基盤整備事業六原地区

赤石遺跡（ME85-1041）

所在 地：金ヶ崎町六原地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室長

調査期日：平成24年10月15日(月)～10月16日(火)

赤石遺跡は金ヶ崎町六原字赤石地内に所在し、金ヶ崎町役場の北西約6.2kmの水田地帯に位置する。周辺は、金ヶ崎台地上に見られる砂礫段丘の低位面に分類されており、遺跡は水田面より僅かに標高の高い微高地面（現宅地）周辺に広がっている。

六原地区のは場整備事業に係り平成24年度に実施した試掘調査において、当遺跡の北東側に含まれる田面で遺構の存在が確認されたため、当該田面ならびに西側の隣接田面を対象として発掘調査を実施した。調査地は遺跡範囲の北東側隣接地にある。

調査区の層序は、次のとおりである。I層：暗褐色粘質土（層厚10～40cm。水田耕作土）。II層：盛土（層厚20～60cm。西側田面のみ）。III層：黒褐色粘質土（層厚0～10cm。自然堆積層。削平され、局所的に残るのみ）。IV層：明黄褐色粘質土（層厚不明。地山。灰白色砂質土が混入。西側田面の西～北縁、東側田面の南半ではグライ化）。

調査の結果、西側田面では遺構・遺物ともに検出されなかった。当田面の北西部では小河川および周辺の低湿地を盛土造成しており、その他の部分はIV層面まで削平されていた。この状況から西側田面は、開田時の土地造成により著しい地形改変を被っていることが確認された。一方、東側田



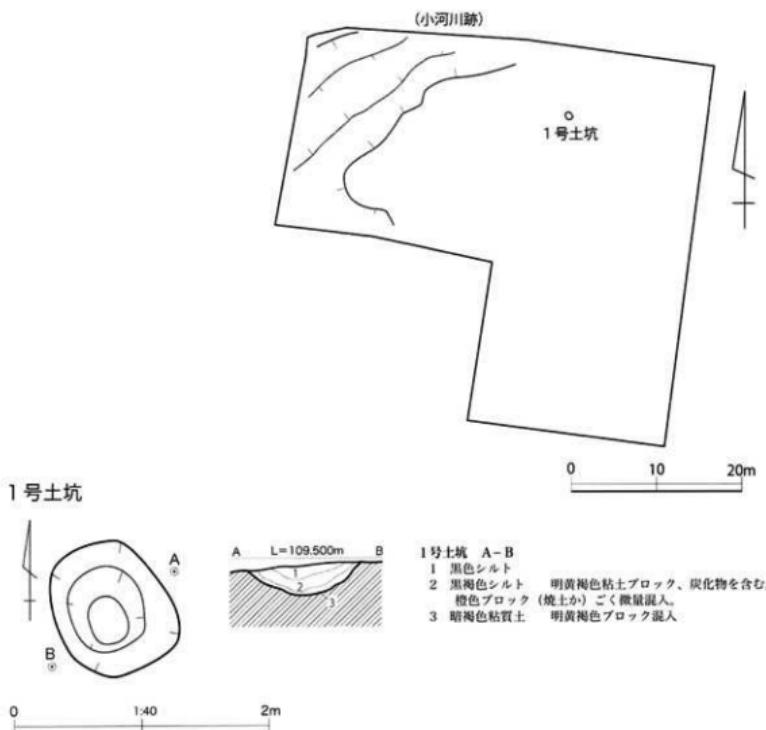
第10図 赤石遺跡位置



第11図 赤石遺跡調査区

面においても西側田面同様に1m程度削平されていたが、北側中央付近で土坑1基を検出した。試掘調査で検出されたものと同一と思われる。土坑は開口部径0.9×1.0mの楕円形平面を呈している。底面がはつきりせず、緩やかに壁が立ち上がる。深さは約0.25mと浅いが削平されているためであり、辛うじて底部付近が残存した状況と思われる。埋土は黒色ないしは黒褐色の粘質土が主体で、埋土下位から底面付近にかけて炭化物が多く混入しているが、壁面や埋土で焼土が見られないことから何かを焼いた穴とは考えづらく、その用途は不明である。また埋土および周辺から何らの遺物も出土しなかったため、所属時期についても不明である。ただし埋土の様相から見るとごく新しいものとは思われず、試掘調査において西側田面で陶器片（常滑産か）が出土していることを考慮すると古代末～中世の遺構である可能性も否定できない。

今回調査地では土坑1基を確認したのみで遺物は全く出土しなかった。1基のみではあるが遺構が確認されたことから、かつて調査地まで遺跡範囲が広がっていたことが示唆されるが、開田時の地形改変により今回調査地付近では遺構・遺物が失われたと考えられる。



第12図 赤石遺跡遺構配置・検出遺構

4 村道城内二又線改良舗装事業

中平遺跡 (JG60-0258)

所 在 地：九戸郡野田村大字野田第22地割中平

事 業 者：野田村

調査期日：平成25年3月11日(月)～3月15日(金)

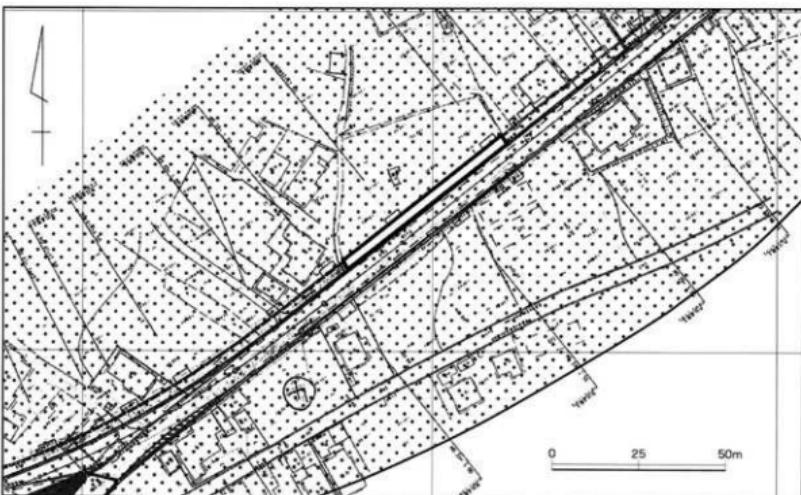
中平遺跡は野田村役場の南西約1.8kmに位置し、標高25～60mの台地上に所在している。遺跡は平安時代の大規模集落跡として周知されており、現況でも埋没しきっていない竪穴住居跡の窪みが遺跡内の各所に見られる。遺跡の一部、野田中学校の西側隣接部分については「野田竪穴住居跡群」として県史跡に指定されている。

今回の調査は、村道城内二又線の改修工事にともない、道路拡幅部分について実施したものである。当事業に係る調査は既に県埋蔵文化財センターによる発掘調査が実施されており、平安時代の竪穴住居跡、土坑、陥り穴等が検出された。今回調査地は先の発掘調査の際に筆界未定のため調査未了となっていた箇所である。調査区は村道北側に隣接する畠地で、延長60m×幅3mの範囲である。なお平成21～22年度に下水道管理設工事に係り村道路面の一部について当課、平成24年度には個人住宅建設に係り村教育委員会および当課により、それぞれ発掘調査が行われて、県埋文センター調査と同様の遺構・遺物が確認されている。

調査区の基本層序は、次のとおりである。I層：黒褐色土（層厚10～15cm。耕作土）。II層：黒褐色土（層厚20～30cm）。III層：暗褐色土（層厚10～20cm）。IV層：褐色土（層厚20～35cm。遺構検出面）。V層：明黄褐色土（層厚不明。地山）。



第13図 中平遺跡位置

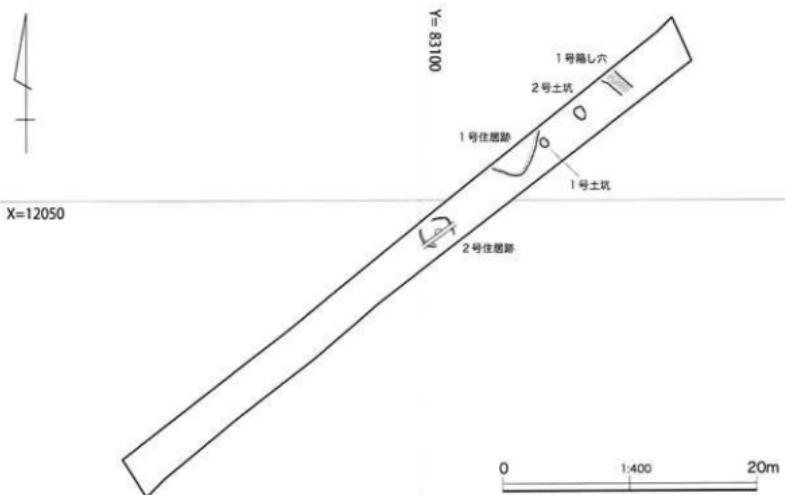


第14図 中平遺跡調査区

調査の結果、調査区の東半部において竪穴住居跡2棟、土坑2基、陥し穴1基が検出された。各遺構ともに検出層位はIV層上面である。調査区西側では、過去に削平を被っているためか、遺構・遺物ともに確認されなかった。

竪穴住居跡は平安時代に属するもので、調査区中央東寄りで検出された。1号住居跡は北側が調査区外にあるため全体の規模・形状は不明であるが、確認できた壁（南辺2.2m、東辺2.8m）から見れば北東-南西の軸線をとる隅丸方形の平面形を呈すると推測される。埋土は自然堆積の様相を示しており、埋土中位に白色火山灰ブロック（十和田a火山灰と推定される）が混入している。床面の一部には貼床がなされている。カマドは検出されなかった。埋土から土師器片および土製品、鉄製品が出土している。土製品は羽口の破片と推測される。鉄製品は器種不明である。2号住居跡は1号住居跡の西側、調査区ほぼ中央付近に位置している。北側隅の一部および南側が調査区外にあって全形を把握できなかつたが、東西2.4m×南北2.2m程度の長方形平面を呈する、小形の竪穴である。埋土下位および床面に焼土・炭化物が認められるが、分布が局所的で焼失住居であるか不確実である。カマドは確認されず、床面の中央付近に焼土が形成されている。埋土からは土師器片が出土している。また、南西壁側の埋土中位に土師器を含んだ貝層が形成されていた。貝層はムラサキインコ、イガイを主体とし、クボガイ、イボニシ、レイシ、エゾアワビ、チヂミボラが含まれており、他にムラサキウニの棘やフジツボが含まれている。出土状況から住居跡の埋没過程で投棄されたものである。2号住居跡は小形で床面に跡が見られることから、通常の住居跡ではなく工房的なものである可能性が高く、1号住居跡から羽口片が出土したことと考え合わせれば、鍛冶関連の工房跡と推測される。

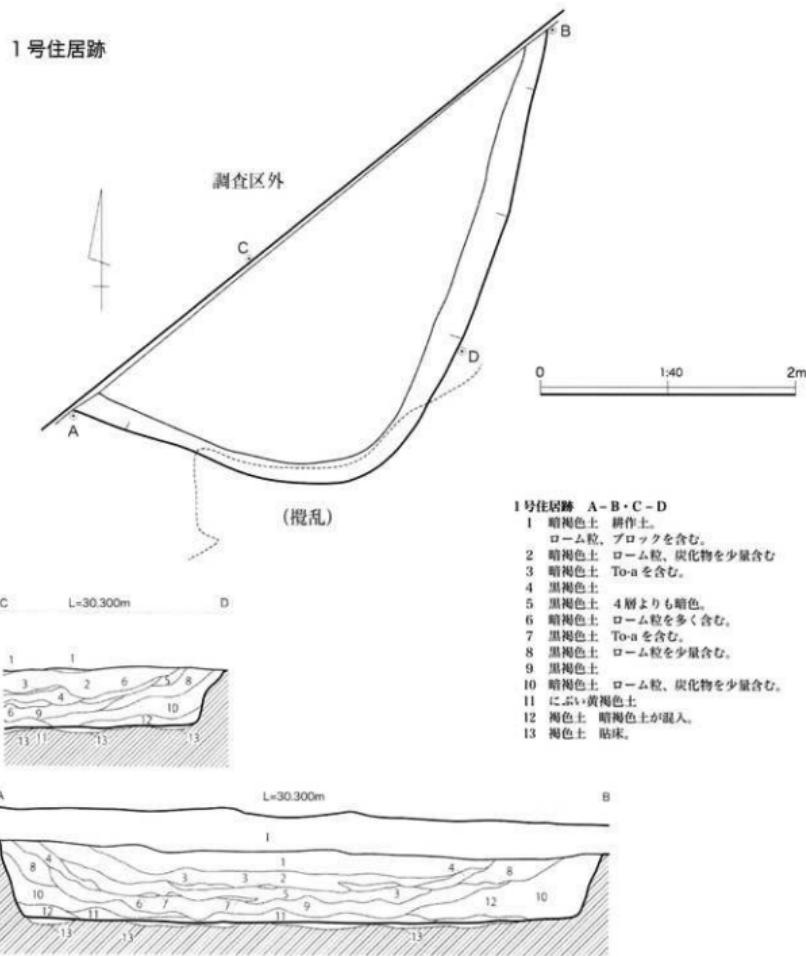
土坑は調査区東側で2基が検出された。1号土坑は1号住居跡の東側に隣接している。開口部は0.6×0.8mの楕円形を呈し、深さは0.5mである。埋土断面を参照すると西側に柱痕跡を有するとと思われ、柱穴である可能性が高い。また2号土坑は開口部1.1×0.8m、深さ0.4mの小判形平面を



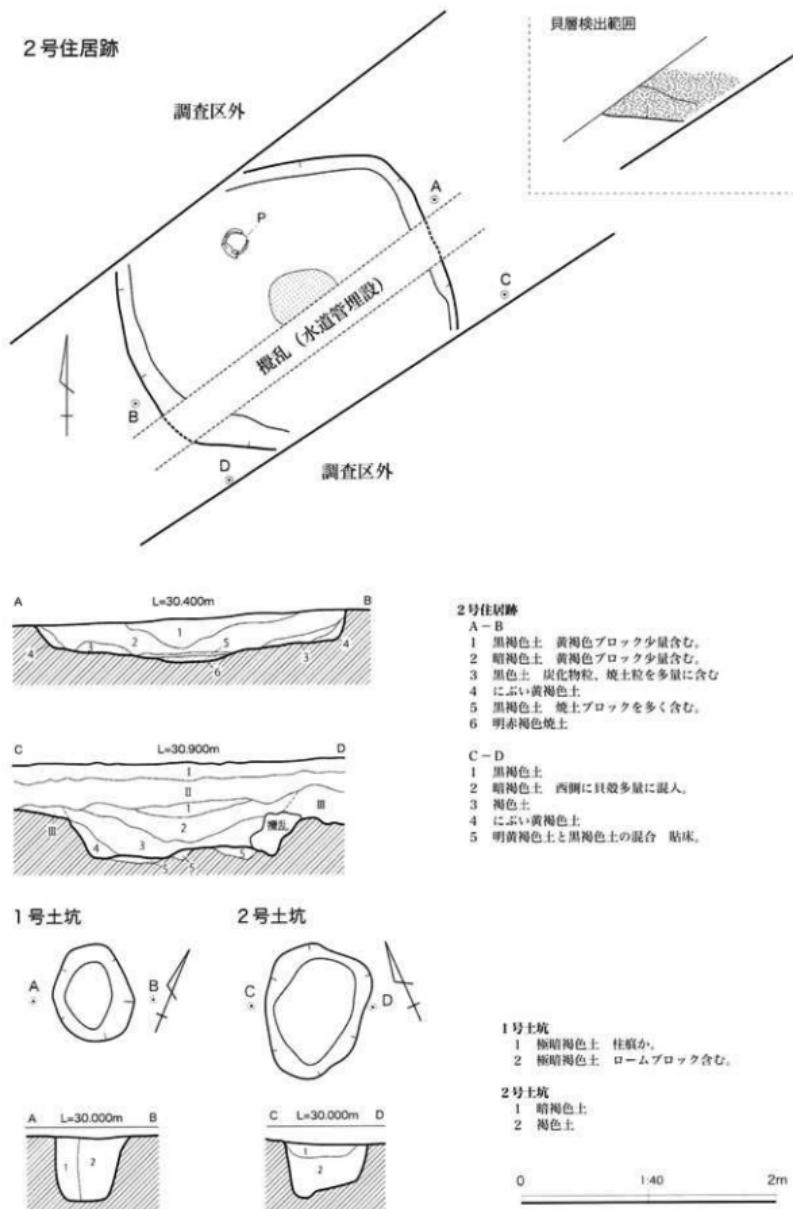
第15図 中平遺跡遺構配置

呈する。埋土の上位は黒褐色土で明瞭であるが、下位は地山と似た黄褐色土(IV層相当か)が流入している。2基ともに出土遺物を欠いており、所属時期およびその性格は不明である。

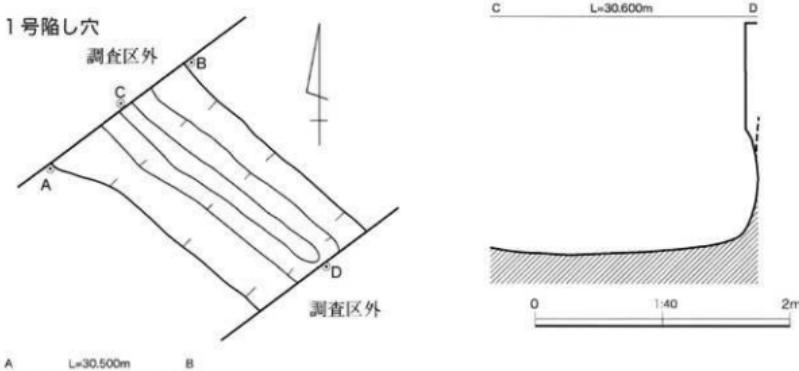
陥し穴は調査区東端付近で1基検出された。開口部平面が幅1~1.2m・深さ1.4mの溝状を呈するもので、南北両側が調査区外へと延びるため、長軸方向の規模は不明である。検出層位はV層上面で、縄文時代に属するものと思われる。なお、近接地の過去の調査において縄文時代の遺構・遺物が検出されているため、サブトレンチを設定してV層の深掘りを行ったが、前述の陥し穴以外は検出されなかった。



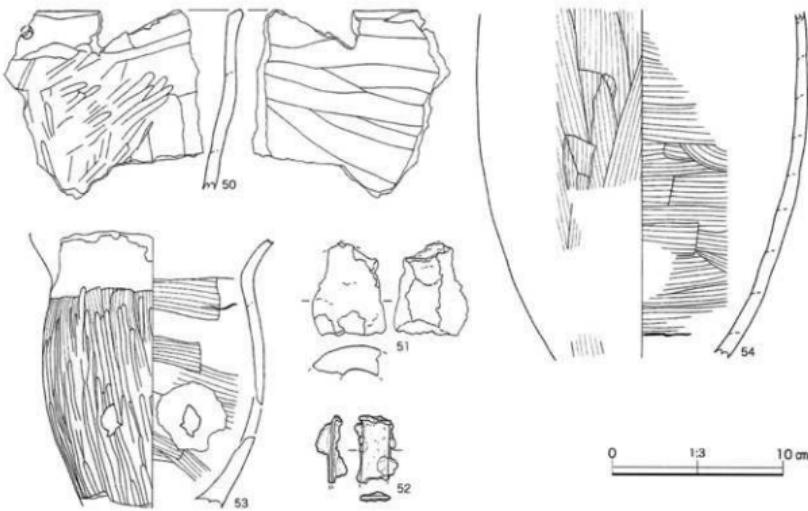
第16図 中平遺跡検出遺構(1)



第17図 中平遺跡検出遺構 (2)



- 1号陥し穴
- 1 暗褐色土 ローム粒少量含む。
 - 2 暗褐色土 ローム粒少量含む。
 - 3 にぶい黄褐色土 ローム粒少量含む。
 - 4 褐色土 暗褐色ブロックを含む。
 - 5 褐色土 暗褐色ブロックを含む。
 - 6 黒褐色土 ロームブロック。炭化物を含む。
 - 7 褐色土 黑褐色ブロック
 - 8 にぶい黄褐色土 暗褐色土を含む。
 - 9 黑褐色土 ロームブロックを含む。
 - 10 褐色土
 - 11 にぶい黄褐色土 暗褐色土を含む。



第18図 中平遺跡検出遺構・出土遺物

遺物観察表（1）発掘調査

遺構名	番号	出土地点	層位	種別	器種	特徴	時代	時期	備考
深沢野Ⅰ	1	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	口縁部は無文。地文LR。口縁～胴部上半にコゲ付着。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	2	C区南側上段	IV層	圓文土器	壺	地文LR。上部は横回転、中～下部は縱回転。底面ナデ。	圓文	後期	
深沢野Ⅰ	3	A区南側下段	III～IV層	圓文土器	深鉢	波状口縁。口縁部は無文。頭部に沈線。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	4	A区中央部上段	III～IV層	圓文土器	鉢	口唇部に規則入った隆帶を貼付。口縁部は無文。胴部は地文LR。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	5	A区南側下段	III～IV層	圓文土器	深鉢	波状口縁。口縁部は無文。胴部は地文LR。口縁部にコゲ付着。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	6	A区南側下段	III～IV層	圓文土器	深鉢	波状口縁。口縁部は無文。胴部は羽伏圓文(LRの異方向回転)。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	7	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	波状口縁。無文。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	8	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	口縁部に指頭圧痕。沈線5条。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	9	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	口縁部に指頭圧痕。無文。	圓文	後期	
深沢野Ⅰ	10	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	口縁部に指頭圧痕。沈線。	圓文	後期	
深沢野Ⅰ	11	B区北側	III～IV層	圓文土器	鉢	小波状口縁。三叉文。	圓文	晩期	大洞B
深沢野Ⅰ	12	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	口縁部に羊齒文。胴部地文はRL。	圓文	晩期	大洞BC
深沢野Ⅰ	13	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	穂い波状口縁。口縁部に沈線5条。胴部は地文LR。胎土に金雲母含む。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	14	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	波状口縁。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	15	B区下段中央部	III～IV層	圓文土器	鉢	口唇部は貼付により肥厚。接 ⁵ 。波状口縁。沈線3条。LR。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	16	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	地文LR。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	17	不明	IV層	圓文土器	深鉢	三叉文。地文RL。	圓文	晩期	大洞B
深沢野Ⅰ	18	C区南側上段	III～IV層	圓文土器	深鉢	口縁部は無文。胴部LR。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	19	C区南側上段	III～IV層	圓文土器	深鉢	沈線5条。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	20	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	口縁無文。胴部LR。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	21	調査区南端	IV層	圓文土器	深鉢	口縁部に指頭圧痕。無文。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	22	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	口縁無文。胴部LR。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	23	南端	IV層	圓文土器	壺	器表面2/3程度が剥落。全面ナデで無文。	圓文	後期	
深沢野Ⅰ	24	不明	IV層	圓文土器	深鉢	沈線5条。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	25	主に北側	IV層	圓文土器	深鉢	0段多綱。RL。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	26	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	地文LR。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	27	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	地文RL。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	28	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	擦糸文。R。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	29	A区中央部上段	III～IV層	圓文土器	鉢	三叉文。沈線2条。	圓文	晩期	大洞B
深沢野Ⅰ	30	B区北側	III～IV層	圓文土器	深鉢	三叉文。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	31	B区北側	III～IV層	圓文土器	壺	沈線3条。0段多綱RL。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	32	B区下段中央部	IV層	圓文土器	深鉢	三叉文。0段多綱RL。	圓文	晩期	
深沢野Ⅰ	33	不明	IV層	圓文土器	深鉢	口縁は無文。胴部LR。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	34	A区南側下段	III～IV層	圓文土器	深鉢	斜織文。LR。内面にコゲ付着。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	35	調査区南端	IV層	圓文土器	深鉢	地文LR。内面にコゲ付着。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	36	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	胴部LR。底面ナデ。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	37	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	胴部RL。底面ナデ。コゲ付着。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	38	A区南側下段	III～IV層	圓文土器	深鉢	地文LR。底面ナデ。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	39	C区南側上段	IV層	圓文土器	深鉢	地文LR。コゲ付着。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	40	不明	IV層	圓文土器	鉢	上げ底。胎土に粗糾多く含む。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	41	北側下部	IV層	圓文土器	鉢	上げ底。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	42	不明	不明	土製品	土製円盤	RL。	圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	43	南側 谷上部	I層	土製品	不明		圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	44	B区北側	IV層	石器	磨石		圓文	後～晩期	
深沢野Ⅰ	45	C区南側上段	IV層	石器	残核		圓文	写真掲載。	

*便宜的に調査区を3分割し、南側をA区、中央をB区、北側をC区として遺物を取り上げた。

遺構名	番号	出土地点	層位	種別	器種	特徴	時代	時期	備考
石田Ⅰ・Ⅱ	46	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	外面：ケズリ。内面：ナデ。	平安		
石田Ⅰ・Ⅱ	47	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	外面：ヘラケズリ。内面：ヘラナデ。外側にコゲ付着。	平安		
石田Ⅰ・Ⅱ	48	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	底部、底面はヘラナデ。	平安		
石田Ⅰ・Ⅱ	49	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	底部、底面はヘラナデ。	平安		
中平	50	1号住	埋土	土師器	甕	外面：ケズリ→ミガキ。コゲ付着。内面：ケズリ。船上に小石、金雲母含む。	平安		
中平	51	1号住	埋土	土製品	羽口	欠損。	平安か		
中平	52	1号住	埋土	鉄製品	不明	欠損。幅1.8cm。扁平な板状。末端が扭曲。	平安か		
中平	53	2号住	床面	土師器	甕	胴部に穿穴1箇所（内側から穿孔）。外面：ヘラナデ→ミガキ。内面ナゲ。	平安		
中平	54	2号住	床面	土師器	甕	胴部、内面：強いヘラナデ（ハケメ？）。外面：ヘラナデ。下半にコゲ付着。	平安		

II 試掘調査



1 宮古盛岡横断道路一般国道106号都南川目道路

田ノ沢B遺跡 (LE28-1021)

所 在 地：盛岡市川目第8地割地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

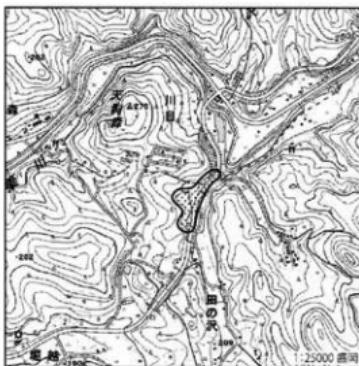
岩手河川国道事務所

調査日：平成24年12月25日(火)

田ノ沢B遺跡は、盛岡市役所の南東約5.8km、天狗森の南東裾の緩斜面に立地している。区界峠から発した梁川は狭隘な渓谷を蛇行しながら西流して北上川に注いでいるが、天狗森付近で梁川の流路はV字形の急角度に屈曲している。梁川屈曲部から小規模な谷が南に延びており、遺跡はその谷の西側斜面に位置している。国道106号から分岐して手代森へと続く県道36号が遺跡を斜めに縦断している。

今回の調査は都南川目道路改築工事に係るもので、遺跡南西隅付近の畠地を対象とするものである。調査地は上下2段の畠地であるが、上段畠地の西側部分（斜面裾側）は県道改築前の旧道敷地だったようである。下段畠地に4箇所、上段畠地に3箇所、合計7箇所のトレンチを設定した。掘削の結果、上下段ともに厚い盛土層が確認され、現況の段が人為的な地形改変によるものと判明した。下段のT1～4では、段際で最大60cmの盛土、次いで黒褐色土層（II層、厚さ最大30cm）、褐色地山（III層）という層序が確認された。自然堆積と思われるII層には、遺物は含まれていなかつた。逆に段の奥側では耕作土直下がIII層となり、削平されていた。遺跡範囲外にあたる上段畠地のT5～7でも層序は同様であり、盛土層は3mに及んでいる。遺物は出土しなかつた。各トレンチのIII層面で遺構確認したが、検出されなかつた。

今回の調査地周辺はかつて道路敷だったことから地形が大幅に改変されているとともに、トレンチの堆積土層の様相から旧地形は傾斜のきつい斜面だったと考えられる。以上から、今回調査範囲については遺構・遺物はない判断した。



第19図 田ノ沢B遺跡位置



第20図 田ノ沢B遺跡調査地点

2 一般国道4号盛岡北道路

狼久保Ⅲ遺跡(KE76-2049)

所在 地：滝沢市巣子地内

事 業 者：国土交通省東北地方整備局

岩手河川国道事務所

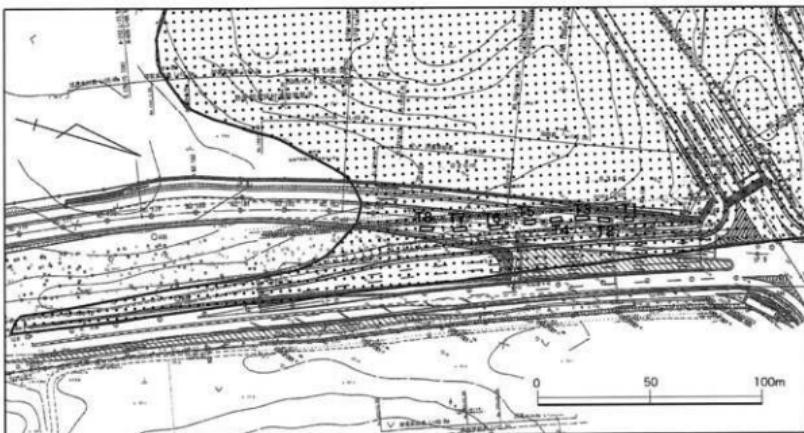
調査期日：平成24年11月16日(金)

今回の調査は、盛岡北道路の下り線新設工事に係るもので、工事予定範囲の北端付近に狼久保Ⅲ遺跡が所在しているため試掘したものである。調査地は家畜改良センター岩手牧場敷地であったが、新たに道路用地となつたものである。当工事に係る試掘調査は既に平成23年度に牧草地部分を対象として実施しているが、今回は未了となつてゐたならかな低丘陵の松林部分を対象とした。なお、前回範囲は削平されており、遺構・遺物は検出されていない。

トレント8箇所を設定した。各調査区の層序は、表土、黒褐色～暗褐色土(最大厚55cm)、褐色土(地山)となっており、松林だったこともあり、大きな地形改変は受けていないと思われる。掘削の結果、各トレントともに遺構・遺物は確認されなかつた。遺跡範囲内ではあるが、今回調査範囲には遺構・遺物はない判断した。



第21図 狼久保Ⅲ遺跡位置



第22図 狼久保Ⅲ遺跡調査地点

3 宮古姉ヶ崎集団施設地区野営場敷地造成工事

姉ヶ崎遺跡 (LG14-1247)

所 在 地：宮古市歛ヶ崎地内

事 業 者：環境省東北地方環境事務所

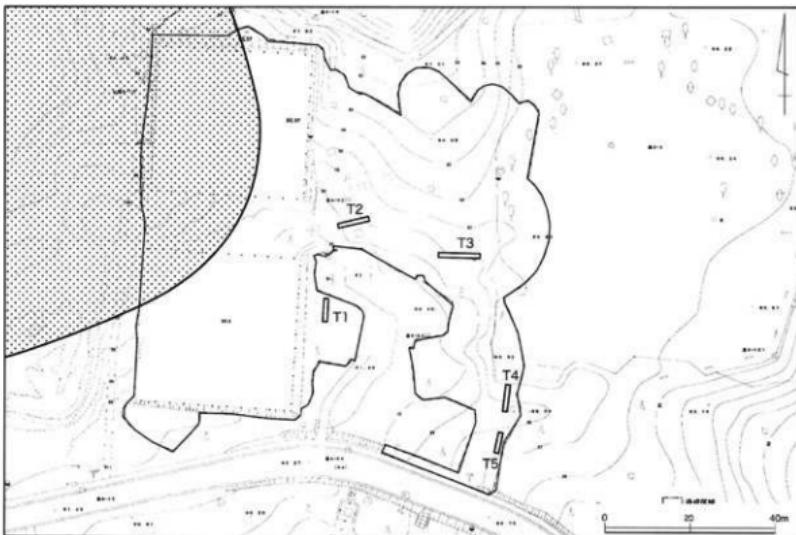
調査期日：平成24年10月18日(木)

姉ヶ崎遺跡は三陸鉄道北リアス線一の渡駅の東約3.5km、太平洋に面した海岸段丘上の北向き緩斜面に立地している。姉ヶ崎野営場の敷地造成工事に係り、工事範囲が遺跡の一部を含んでこれに隣接しているため、試掘を行ったものである。造成工事箇所は、テニスコート既設部分とその周辺の草地である。遺跡範囲であるテニスコート部分は、既に造成されて段差となっており、この部分に遺構・遺物が存在する可能性は低いと推測した。一方、遺跡範囲外の草地部分は比較的旧地形を残していると考え、この部分で切土造成される箇所を今回調査対象とし、トレンチ5箇所を設定した。

T 1・3・4では表土直下で褐色土（地山）が確認され、削平されていることが確認された。T 1の表土層で繩文土器片1点が出土したが、造成時に他所から流れ込んだものと思われる。一方、T 2・5では表土下に暗褐色～黒褐色の自然堆積層が最大50cm見られたが、遺物は含まれていなかった。各トレンチの地山面で遺構の有無を確認したが、検出されなかった。以上から、今回調査地には遺構・遺物はない判断した。



第24図 姉ヶ崎遺跡位置



第25図 姉ヶ崎遺跡調査地点

4 地域連携道路整備事業

大宮遺跡（LE16-2035）

所在 地：盛岡市本宮字小林地内

事 業 者：盛岡広域振興局土木部

調査期日：平成24年10月19日（金）

大宮遺跡はJR 東北線盛岡駅の南西約2.5km、零石川右岸の沖積低地における微高地面に立地している（標高20~30m）。現況は畠地および原野である。今回の試掘は、主要地方道盛岡和賀線改築工事に係るものである。本線部分については平成20年度に試掘調査を行ったが遺構・遺物ともに確認されなかつた。今回調査対象は取付道路部分である。

本線西側に1箇所、東側に2箇所、合わせて3箇所のトレンチを設定した。T 1では遺構・遺物とも検出されなかつた。一方、T 2で東西方向に走る溝跡1条、T 3で南北方向の溝跡1条を検出した。溝幅50~60cmである。これらの溝は直交する方向に延びているが、屈曲する同一の溝である可能性がある。2条ともに遺物は出土せず時期は不明であるが、十和田a降下火山灰を含む層を切っていることから古代以降の遺構である。

(平成25年度、当課が発掘調査実施済)



第26図 大宮遺跡位置



第27図 大宮遺跡調査地点

5 地域連携道路整備事業

赤川II遺跡(MF66-0024) *範囲拡大

所在地：遠野市上郷町地内

事業者：県南広域振興局土木部遠野土木センター

調査期日：平成24年11月27日(火)

今回の調査は国道283号改修工事に係り、拡幅される現道隣接地を対象として実施したものである。分布調査において、隣接する赤川II遺跡から連続する地形面であり、埋蔵文化財包蔵地の可能性があると推測した箇所（可能性あり②）について試掘を行った。調査地の現況は、遠野市役所の南東約5km、北西へと流れて早瀬川に合流する赤沢川右岸段丘上の畠地である。南東側の赤沢川沿いには赤川II遺跡が所在している。

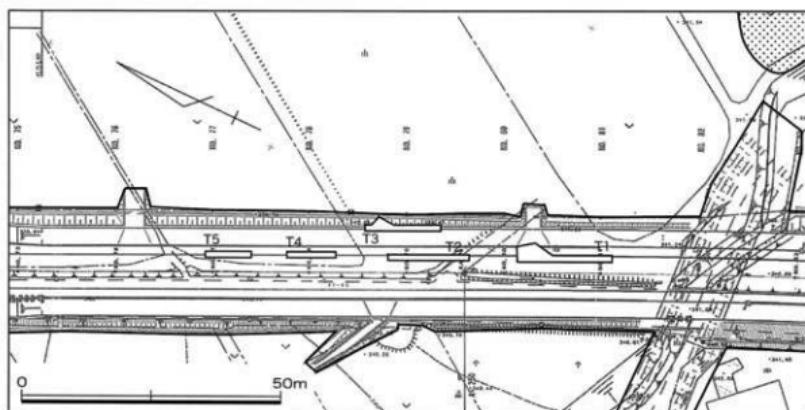
トレンチ5箇所を設定した結果、縄文時代と推測される陥し穴2基が検出された。2基ともに溝状を呈している。1基は、調査地南側畠地のT1南端付近に位置し、長さ3m・幅40cm、深さは40cm以上である。また、北隣の畠地のT3でも同様の陥し穴が検出された。こちらの規模は長さ2.5m以上、幅30~40cmである。検出された2基ともに、長軸方向は南西→北東である。今回調査地付近はかつては場整備が行われており、現在はなだらかな平坦地となっているが、陥し穴の軸線は旧地形の傾斜に沿ったものと思われる。他遺跡の調査事例からみて、今回検出した2基以外にも周囲に複数の陥し穴が存在している可能性が高い。一方、T1~3の畠地より標高が低い北側の畠地にも試掘トレンチを設定したが(T4・5)、遺構は検出されなかった。各トレンチともに遺物は出土しなかった。陥し穴はより標高の高い南側畠地に分布していると思われる。

今回調査の結果、赤川II遺跡の範囲が今回調査地まで広がることを確認した。

(平成25年度、当課が発掘調査実施済)



第28図 赤川II遺跡位置



第29図 赤川II遺跡調査地点

6 地域連携道路整備事業

八幡沖遺跡 (NF93-1069) *新規登録

所在 地：一関市室根町折壁字八幡沖地内

事 業 者：県南広域振興局土木部一関土木センター

調査期日：平成25年2月27日(月)～2月28日(火)

今回の調査は、国道284号室根バイパス建設工事に係るものである。遺跡はJR大船渡線折壁駅の南西約1.2km、矢越山裾から北西へと延びる丘陵先端部に立地している(標高180～190m)。平成21年度に実施した分布調査において「可能性あり①」としたもので、現況の地形観察から堀跡・平場等が確認され、未周知の城館跡と推測された。丘陵先端部には国保室根診療所や特養老人ホームが建設されており、城館中心部分は既に破壊されたと思われる。

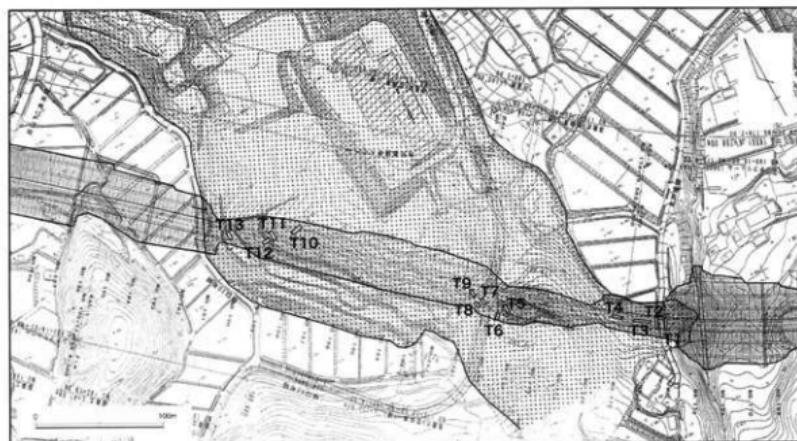
バイパス建設予定範囲のうち、丘陵南東裾の低位面にT 1～4、丘陵面にT 5～13を設定した。道路脇のT 1・2では溝跡各1条が検出された。遺物がなく時期不明である。T 3・4付近は現況では平坦な水田面であるが、黒褐色土が厚く堆積して褐色土層(地山)が落ち込んでいた。埋土の状況からこの落ち込みは堀跡ではなく、埋没沢と推測される。丘陵部のT 6は、L字に屈曲する土壘状の高まり部分に設定した。トレンチ断面で見ると、構築土に版築痕跡は見られずしまりに欠けていたが、平場面を囲っていることから城館にともなう土壘と推定される。T 8・9は堀跡と思われる窪み部分に設定した。埋土は30cm程度と薄い状況であったが、その形状から薬研堀と推測される。各トレンチとともに遺物は出土しなかった。

今回の試掘では分布調査で確認されていた平場・堀・土壘といった遺構以外は確認されず、遺物も出土しなかった。しかし現況地形から当遺跡が中世城館跡である可能性は大きいと思われる。

(平成26年度、発掘調査実施予定)



第30図 八幡沖遺跡位置



第31図 八幡沖遺跡調査地点

7 地域連携道路整備事業一般国道106号

宮古西道路

田鎖車堂前遺跡 (LG33-2040)

所在 地：宮古市田鎖地内

事 業 者：沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

調査期日：平成25年2月18日(月)～2月19日(火)

田鎖車堂前遺跡は、JR 山田線千徳駅の南西約 1 km、長沢川左岸の沖積地における微高地面に立地している。今回の調査は国道106号宮古西道路建設工事に係るもので、遺跡の南東部が道路予定地となつたため、遺跡範囲および隣接部分について試掘を実施した。調査地の現況は畑地および水田である。

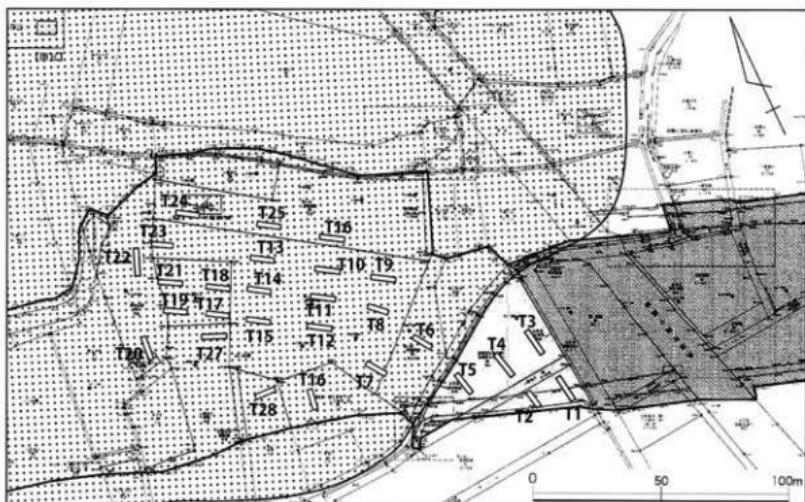
工事に係る遺跡範囲内にトレーンチ28箇所を設定した。T 1～6・24～28を設定した水田部分は畑地よりも一段低い地形面で、遺構・遺物とともに検出されなかつた。一方、畑地部分のトレーンチ (T 7～23) では、竪穴住居跡・土坑等の遺構が検出された。川の氾濫等の影響によるものか、輪郭が不明瞭な遺構が多いものの、その埋土には炭化物粒が含まれる傾向が見られる。T12・15・23では、一定範囲に焼土・炭化物・焼土粒が見られるとともに土師器・須恵器片が出土しており、当該部分が竪穴住居跡であると推測された。また、T12・14・18・19・21・22では土坑、T15・18・21・23では焼土遺構、T 8 で溝跡が検出された。T22の土坑は貝殻が集積しており、廃棄されたものと思われる。

調査の結果、微高地面のより高い部分に古代の遺構群が存在していることが確認された。

(平成26年度、発掘調査実施予定)



第32図 田鎖車堂前遺跡位置



第33図 田鎖車堂前遺跡調査地点

8 経営体育成基盤整備事業六原地区

町の内道下遺跡 (ME75-2072) *新規登録

町の内道上遺跡 (MF85-0012) *新規登録

所 在 地：胆沢郡金ヶ崎町六原地内

事 業 者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成24年11月27日(火)～11月28日(水)

六原地区は場整備工事に係り平成23年度に実施した分布調査結果から、工事範囲内で埋蔵文化財包蔵地の可能性があると推測された「可能性あり⑨」「可能性あり⑪」について試掘を行った。

可能性あり⑨は、金ヶ崎町役場の北西約7.1km、県道288号（北上水沢線）西側の住宅地に隣接する水田面である。北から北東にかけて、北長根道合遺跡が隣接している。トレーニング8箇所を設定した。耕作土直下で褐色～黄褐色土（地山）となる状況であったが、T1で陥れ穴1基、T5・6で土坑7基、T6で溝跡1条・柱穴2個がそれぞれ検出された。土坑のうち、径60～70cmのものは建物を構成する柱穴の可能性がある。遺構の埋土から土師器片が出土しており、陥れ穴を除いて古代の遺構であると推測される。可能性あり⑪は、金ヶ崎町役場の北西7.2km、検断谷地堤の東側に隣接する田面・原野である。水路・道路予定地および切土予定の田区について、トレーニング54箇所を設定した。調査地は全体として削平されており、検出遺構は西端付近のT36で土坑1基のみである。径1.5mの円形平面を呈し、埋土上面に焼土粒・土師器片を含んでいる。古代の遺構と思われる。



調査の結果、可能性あり⑨および⑪の一部において遺構・遺物が確認されたため、前者は「町の内道下遺跡」、後者は「町の内道上遺跡」として、それぞれ新規に遺跡登録された。

(平成25年度、当課が発掘調査実施済)



第35図 町の内道下遺跡、町の内道上遺跡調査地点



第34図 町の内道下遺跡、町の内道上遺跡位置

9 経営体育成基盤整備事業石山地区

松川遺跡 (NE17-0367)

御免遺跡 (NE18-0347)

石山遺跡 (NE18-0011)

大日前遺跡 (NE18-0050) *新規登録

所在地：奥州市江刺区田原字大日前地内

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成24年11月19日(月)～11月20日(火)

今回の調査は、石山地区のほ場整備工事に係るものである。分布調査において遺跡に隣接する東側田面でも遺物が採取されたことから、事業範囲全体について試掘調査を実施した。

調査地は、奥州市役所の東北東約5.2kmの田原地区、伊手川右岸の氾濫低地面である。北上山地の山

稜から発した伊手川は、山間の狭隘な谷部を抜けて調査地付近で北上川流域の平野部に出る。そのため、周辺部には伊手川の頻繁な河道変化による、広い氾濫原が形成されている。特に現河道の南側で顯著で、旧河道と広い氾濫低地が見られる。一方、当遺跡の位置する伊手川北側では水田面中に自然堤防状の微高位面が点在し、それらの多くは宅地や畠地として利用されている。周知の遺跡はその微高地上に所在している。調査地の中央を県道251号が横断しており、調査地西側では県道を挟んで松川遺跡と御免遺跡、北側に石山遺跡が所在している。

県道南側の松川遺跡範囲およびその隣接田面にはトレンチ110箇所を設定した(T1～110)。調査地東側から中央付近、および遺跡範囲に隣接する調査地西側部分において、古代の遺構・遺物が確認された。T15・20・30・82・83・104・109で竪穴住居跡8棟が検出された他、土坑・溝跡・柱穴群も検出されている。T24で検出された溝跡はL字状に屈曲しており、方形周溝と推測される。これらの遺構は、埋土上面や周辺の出土遺物等から古代(平安時代)に属するものと推測される。また、T29で縄文時代の埋設土器遺構1基が検出されている。

一方、県道北側、御免遺跡および石山遺跡に隣接する畠地・水田面にはトレンチ52箇所を設定した(T111～162)。北西隅の畠地のT137・139では柱穴が検出された。この畠地付近は周囲の水田面より一段高いが、耕作土直下で褐色土(地山)となることから削平されていると思われる。他の田面については、調査区南辺から東辺にかけて遺構・遺物が検出された。T126・132・161で土坑、T124・127・133・136で柱穴、T127・128で溝跡がそれぞれ検出された。T132の土坑埋土には土師器片が含まれており、古代の遺構と推測される。標高低い水田面のトレンチでは部分的に砂礫層が見られることから、現田面中に旧河道が存在していると考えられる。旧河道部分では、遺物は少量出土するものの、遺構は見られない。

遺物は、主に古代の土器(土師器・須恵器)がII層中に疎らに含まれる形で出土している。またT146の旧河道から、かわらけ片が出土した。過去に工事の際に今回調査地内で珠洲産壺が出土しており(出土地点の詳細不明)、また当遺跡の北約2.4kmには豊田館遺跡(藤原清衡の居館跡とされる)が所在していることから、当遺跡にも12世紀代の遺構・遺物が存在している可能性が示唆される。

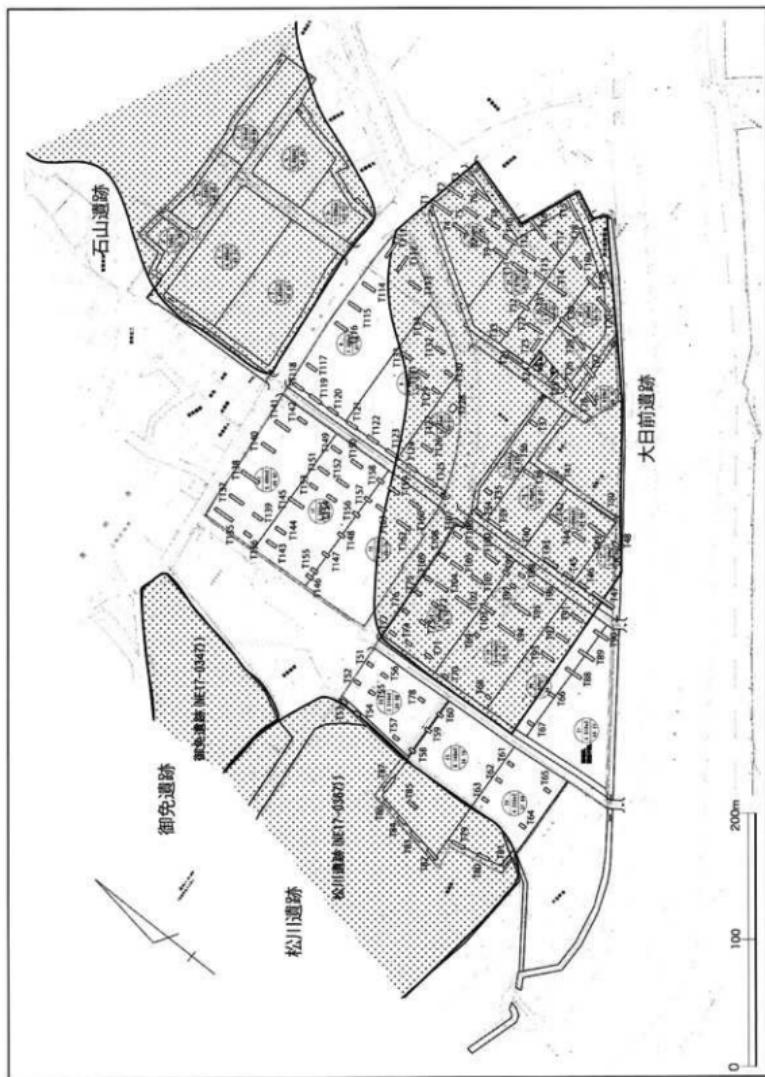
以上のとおり、周知の3遺跡の他、調査地の南から東側にかけて縄文時代・古代・12世紀の遺



第36図 松川遺跡ほか位置

構・遺物が包蔵されていることが確認された。この結果を承けて、当該部分は新規の「大日前遺跡」として登録された。

(平成26年度、発掘調査実施予定)



第37図 石山遺跡調査地点

10 経営体育成基盤整備事業都島3期地区

漆町遺跡 (NE15-2187)

清水下遺跡 (NE15-2166)

二本木遺跡 (NE15-2169)

所在地：奥州市胆沢区南都田地内

事業者：県南広域振興局農政部農村整備室

調査期日：平成24年10月24日(水)～10月29日(月)

今回の調査は、都島3期地区は場整備工事に係り、工事範囲内に含まれる漆町遺跡・清水下遺跡・二本木遺跡について試掘を行ったものである。工事範囲は国道397号以北の田面である。周辺は胆沢扇状地の扇尖部北縁を東流する胆沢川により形成された段丘面低位面（水沢段丘）で、今回調査した3遺跡の他、国史跡・角塚古墳や作屋敷遺跡等の弥生～平安時代を中心とした遺跡群が所在している。なお、当工事範囲東側に要害（止々井館）遺跡の隣接地が含まれており、これについても試掘を行ったが遺構・遺物とともに検出されなかった。

漆町遺跡については国道397号以北の遺跡北辺の田面が工事範囲に含まれており、トレンチ9箇所 (T1～9) を設定した。T1～6を設定した田面は国道脇の一段高い面で、耕作土直下が黄褐色土（地山）であるが、T1・2・4では耕作土直下に黒褐色土の堆積が厚く、旧地形では北側の水田面同様に一段低い地形だったと思われる。T5・6の地山面で遺構・遺物が検出された。T5では、幅0.8mの弧状の溝が検出された。一部のみの検出であるが、確認部分から推測すると径5m以上の円形周溝と思われる。埋土から土師器片が出土しており、古墳時代から奈良時代の遺構と推測される。またこの円形周溝を切る形で北東～南西方向に走る溝跡1条（幅0.9m）が検出されている。重複関係から平安時代以降に属するものである。T6では溝跡1条を検出した。幅0.3mと規模は小さく、遺物を伴わない。埋土の状況から古代に属する可能性がある。T5・6で遺構・遺物が検出されたことから、微高地にあたる部分に古代の遺構群が分布しているものと推測される。

清水下遺跡は奥州市役所の西約5.1km、漆町遺跡北側の一段低い水田面である。遺跡の南辺付近をL字形に既設水路が走っているが、この水路工事の際に石包丁2点（県指定文化財）が発見されている。石包丁は本県では稀少であり、弥生時代の稻作普及を直接的に示す遺跡として広く知られるようになった。遺跡範囲およびその周辺に87箇所 (T10～96) のトレンチを設定した。多くのトレンチにおいて、耕作土層直下には礫が混入する軟弱な泥質土壤（層厚0～80cm）、その下位に砂層または砂礫層が見られ、遺跡範囲内の田面部分には、多数の旧河道と周辺の低湿地が広がっているものと推測された。T10・11・30の3箇所で遺構・遺物が確認された。遺跡南西辺にあたるT10・11では、耕作土下に厚い黒色粘質土層が見られたが、砂礫層まで掘り下げた段階で溝状の落込みが確認された。溝の南側縁付近では杭跡状の小穴が検出されている。この「溝」の続きと思われるものはT11でも検出されており、北東～南西方向へと延びているものと推測される。遺物をともなわず、時期は不明である。またT30では南側で旧河道状の落込みが検出され、その落ち際に土師器片がまとめて出土した。旧河道は若干南東へ膨らんで弧状となりつつ北東～南西に走る。土師器はその内側の礫みと思われる箇所で出土しており、北側からの流れ込みか、上流（西側）か



第38図 漆町遺跡ほか位置

ら流されて澱みに沈殿したものと思われる。その他のトレンチでは遺構・遺物ともに確認されていない。なお、石包丁の出土や遺跡の立地環境から見て、弥生時代水田跡の存在も予想されたため、調査にあたって留意したがその痕跡を明確には把握できなかった。

二本木遺跡は奥州市役所の西約4.8km、国道397号に沿って東西に延びるやや高い地形面に遺跡が立地している。遺跡範囲の田面にトレンチ22箇所（T97～118）を設定した。国道北脇の隣接田面のT103～106・108・109、一段低い田面のT112・114・117で遺構が検出された。T103～105では幅0.9～1.9mの溝跡が検出された。微高地面から低地に向かって南北に縦貫している同一の溝と推測される。T103では土坑2基・柱穴1個、T106で柱穴1個、T108では土坑1基・柱穴1個が検出されている。これらの遺構にともなう遺物は出土せず、時期は特定できなかった。一方、T109では竪穴住居跡1棟・土坑1基・溝跡1条が検出された。竪穴住居跡は西隅の一部を確認したのみで規模は不明である。埋土中に焼土が多量に混じっており、その周辺から土師器片10数点がまとまって出土した。検出状況から古代の住居跡と推測される。T112では溝跡1条、T114で溝跡2条・土坑1基、T117では竪穴住居跡1棟を検出した。なお、T102・110・111・113の田面は地形改変されており、微高地を削平、ないしは低地に盛土して造成されている。また、T97～101・115を設定した低位田面では、黒褐色粘質土層が厚く、湿地的な様相を示していた。これらのトレンチでは、遺構・遺物ともに検出されなかった。国道397号沿いの標高の高い田面には、遺構・遺物が良好に包蔵されていることが判明した。

（平成25年度、奥州市埋蔵文化財調査センターが発掘調査実施済）



第39図 漆町遺跡・清水下遺跡・二本木遺跡調査地点

11 経営体育成基盤整備事業小瀬川地区

小瀬川Ⅰ遺跡 (ME15-1031)

所在 地：花巻市小瀬川地内

事 業 者：県南広域振興局農政部

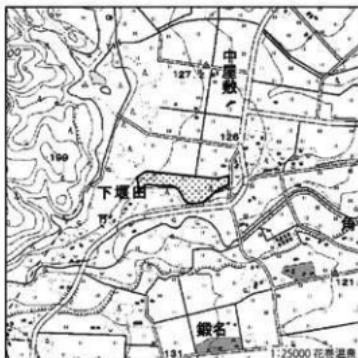
北上農村整備センター

調査期日：平成24年10月3日(水)～10月4日(木)

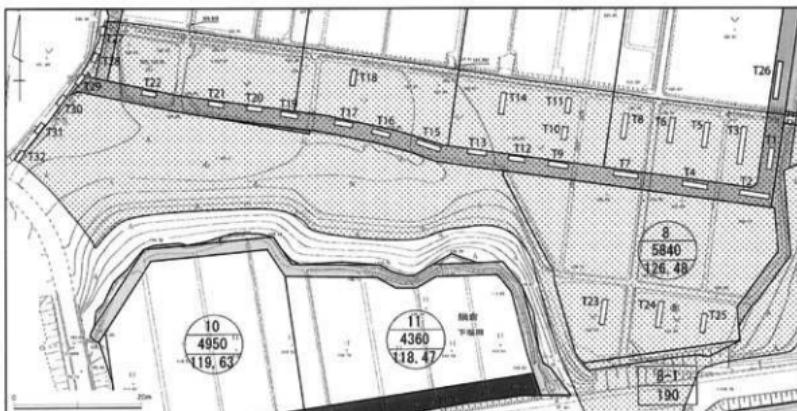
小瀬川Ⅰ遺跡は花巻市役所の北西約5.9km、瀬川の支流・鍋割川の左岸段丘縁部分に位置している。遺跡の南西部には自然林が残り旧来の地形をよく残しているが、それ以外の部分は水田・畑地となっている。遺跡の標高はおよそ127～129mである。

小瀬川地区は場整備工事に係る遺跡範囲およびその周辺部分にトレンチ32箇所を設定した。T 1～26は面工事(切土分)の範囲、T 27～32はパイプライン埋設箇所にある。トレンチ掘削の結果、遺跡の東半側で遺構・遺物が確認された。T 2～11では繩文土器を含んだ黒色土層(Ⅱ層)が確認された。Ⅱ層は主に田面北側の縁部分で残存しているが、南に行くにしたがって薄くなり、T 2・4・7・9ではごく薄い。また、T 2およびT 24で柱穴、T 23で土坑が検出されている。遺構の検出面はいずれも耕作土直下の地山(Ⅲ層)上面である。遺構にともなう遺物は確認されていないが、Ⅱ層出土土器が繩文時代中期に属すると推測されることから、同時期のものか。耕作土には土器片の混入が顕著に見られ、遺構・遺物の検出状況を踏まえると、全般に開田の際に著しい削平を被っていると推測される。一方、遺構・遺物が検出された遺跡東半部に隣接する田面(水路を挟んで50cm程度低い)にT 26を設定したが、耕作土直下で地山が露出し、遺物も出土しなかった。このことから、遺跡範囲は北側隣接田面までは広がっていないと判断した。今回調査では、遺跡東側で遺構・遺物が検出された。主に計画田区8の範囲内に繩文時代の遺構・遺物が遺存しているものと考えられる。

(平成25年度、花巻市教育委員会が発掘調査実施。平成26年度継続調査予定)



第40図 小瀬川Ⅰ遺跡位置



第41図 小瀬川Ⅰ遺跡調査地点

12 経営体育成基盤整備事業和賀中部第四地区

伍大坂Ⅰ遺跡 (ME64-2335)

伍大坂Ⅱ遺跡 (ME64-2318)

欠ノ下台地遺跡 (ME65-2020)

六軒遺跡 (ME65-2055)

所在地：北上市和賀町岩崎地内

事業者：県南広域振興局農政部

北上農村整備センター

調査日：平成24年11月13日(火)～11月14日(水)

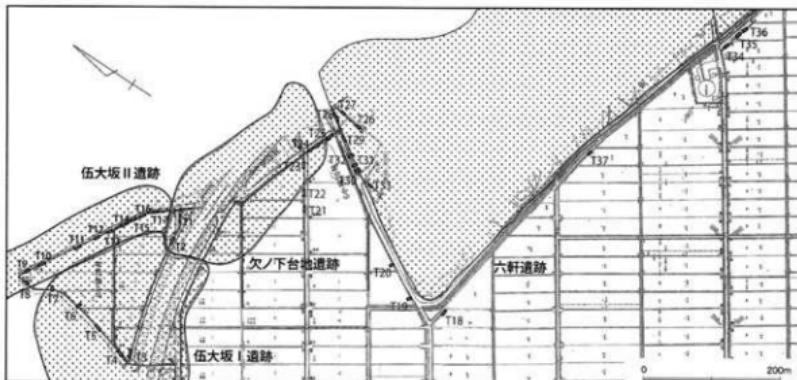
今回の調査は、和賀中部第四地区は場整備事業に係る農業用給水管の埋設工事とともにうるので、調査地はJR東北線北上駅の南西約5km、夏油川右岸の台地縁辺部分である。周辺は開拓により水田化しております、南隣の金ヶ崎町六原へと連なる広大な水田地帯となっている。台地縁辺部分には今回の調査対象となった4遺跡の他、高田坂遺跡・久田II遺跡・八天坂遺跡等が所在しており、「岩崎台地遺跡群」と総称される。

調査地の西側、主に伍大坂Ⅰ遺跡・伍大坂Ⅱ遺跡および欠ノ下台地遺跡西端に係る農道脇部分にT3～17を設定した。全般に削平されており、T3～14では遺構・遺物ともに検出されなかつたが、T15で土坑Ⅰ基を検出した。土坑は径1m前後の円形を呈する。遺物を伴っていないため、所属時期は不明である。T15の東西両側のT16・17では遺構は検出されなかつたが、T15付近に他の遺構が存在している可能性があると推測される。一方、欠ノ下台地遺跡東端および六軒遺跡に係る調査地東側の農道・市道脇に、T18～37を設定した。この部分では、六軒遺跡北西辺のT30で焼土遺構Ⅰ基が検出された。焼土周辺には炭化物粒が散り、土師器片が出土している。単なる焼土遺構ではなく、竪穴住居跡に付随するカマド痕跡の可能性もあると思われる。他のトレンチでは遺構・遺物ともに検出されなかつた。過去の開田により大幅な地形変更を受けているためではないか、と思われる。調査結果から、焼土を検出したT30周辺部に遺構・遺物が所在している可能性が高いと予想される。伍大坂Ⅱ遺跡の一部および六軒遺跡の一部について、発掘調査が必要と判断される。

第42図 伍大坂Ⅰ遺跡ほか位置



(平成25年度、当課が発掘調査実施済)



第43図 石畑遺跡調査地点

13 経営体育成基盤整備事業日形地区

小野遺跡（OE39-1017）

町裏I遺跡（OE39-0161） *範囲拡大、改称

町裏II遺跡（OE39-0086） *新規登録

所在地：一関市花泉町日形字小野、字町裏地内

事業者：県南広域振興局農政部

一関農村整備センター

調査期日：平成24年10月23日(火)～24日(水)

11月15日(木)

今回の調査は日形地区のほ場整備工事に係るもので、工事範囲に小野遺跡および町裏遺跡が所在するため、試掘調査を実施したものである。調査地は一関市役所の南東約16km、北上川右岸の沖積地である。

調査地南西側の小野遺跡は大江川を挟んだ二つの微高地に立地している。遺跡北西側の微高地については平成23年度に試掘調査を実施し、平成24年度に県埋蔵文化財センターにより発掘調査が実施された。今回の調査対象は遺跡南西側の微高地部分である。用排水路予定箇所、切土造成田区にトレンチ14箇所を設定した。T 3～5およびT 9において柱穴9個が検出されている。T 4の柱穴2個は方形平面で柱痕が明瞭なものである。柱穴の規模は径40～50cmである。また、T 3～6・9で径1.5～2mの土坑9基、T 7で溝跡1条が検出された。溝は「コ」形に屈曲しており、方形周溝の可能性がある。これらの遺構は埋土に土師器片を含むものもあり、古代に属する可能性が高い。今回調査地では堅穴住居跡は検出されていないが、掘立柱建物を主体とする古代の集落跡が存在すると考えらる。

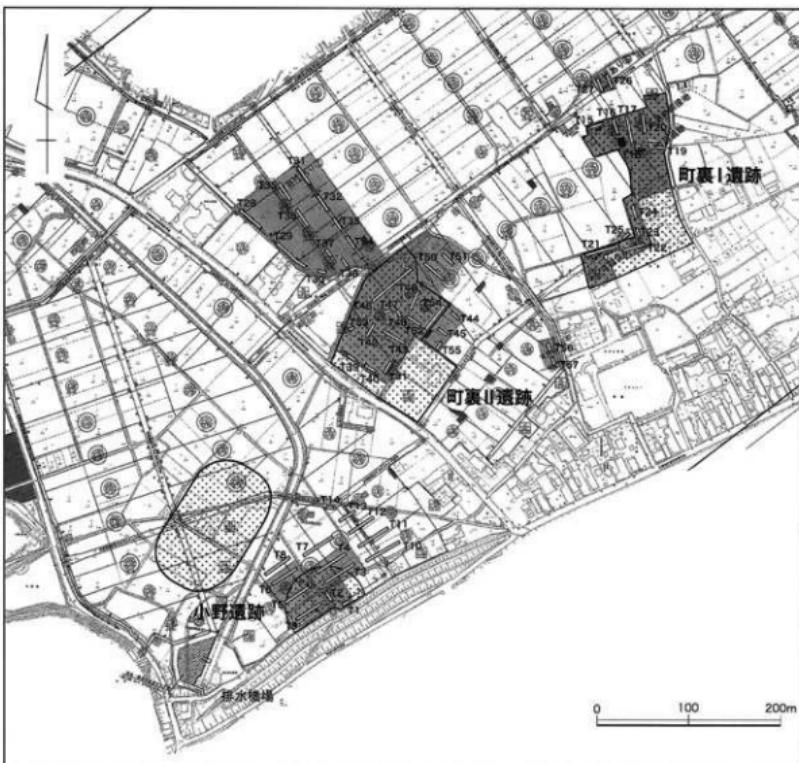
調査地北東側の町裏遺跡は沖積地の微高地面（標高14m前後）で、現況は畠である。遺跡範囲および周辺水田・畠地の農道設置予定箇所、切土予定田区にトレンチを設定した（T15～27）。各トレンチの土層を確認したところ、表土下70～100cmに亘って近世陶器片（相馬産）を含む、褐色～にぶい黄褐色土が見られ、その下に十和田a火山灰を含む暗褐色土層（層厚15～20cm）が見られる。厚く堆積するにぶい黄褐色土は北上川の洪水に起因するものと考えられる。T 20・22の暗褐色土層で竪間状遺構が検出された。検出面周辺から須恵器が出土しており、この竪間状遺構は古代の畠跡と推測される。他のトレンチでは遺構・遺物は確認されなかつたが、町裏遺跡周辺に古代の生産域があったと推測される。なお、試掘結果から遺跡範囲が広がることが確認されたため、旧・町裏遺跡は「町裏I遺跡」と改称・範囲拡大された。

町裏遺跡と同様の地形面である調査地中央付近の畠・桑畠には、T 28～57を設定した。微高地面のより高い部分（T 41～43・46～49）は町裏（町裏I）遺跡と概ね同様な層序であり、バミスを含む暗褐色土から土師器・須恵器が出土している。T 49で竪穴住居跡1棟、T 41・43・49で土坑4基、T 43・54で溝跡3条、T 52で竪間状遺構および柱穴2個がそれぞれ検出された。T 43の土坑は鍛冶炉の可能性もある。これらの遺構は出土土器から見て、古代に属するものと思われる。この結果から、遺構が検出された畠地・桑畠が新規に「町裏II遺跡」として登録された。

(平成25年度、県埋文センターにより発掘調査実施済)



第44図 小野遺跡ほか位置



第45図 小野遺跡、町裏Ⅰ遺跡、町裏Ⅱ遺跡調査地点

14 農地等災害復旧事業

相川Ⅰ遺跡 (NF57-2045)

所 在 地：陸前高田市竹駒町字相川地内

事 業 者：沿岸広域振興局農林部

大船渡農林振興センター

調査期日：平成24年11月1日(木)

相川Ⅰ遺跡はJR大船渡線竹駒駅の東約1kmに位置し、気仙川右岸沖積地と氷上山から延びる南向き尾根先端の接点付近に所在している。今回調査は農地の災害復旧工事に伴い実施したものである。当工事は、津波により被災した農地について瓦礫を含む耕作土の除去・入替（表面10cm程度）を行うものである。そこで調査は、表土中の遺物の有無および下層における遺構の有無をそれぞれ確認する形で行った。調査箇所は、遺跡範囲の南西端付近の休耕田である。トレンチは4箇所に設定した。

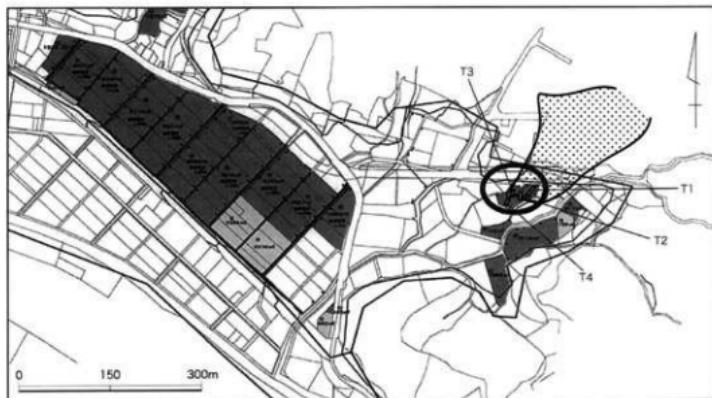
T2において、土坑1基（径70cm）、溝跡1条（溝幅30cm）を表土下20cmで検出している。土坑は埋土に縄文土器片を含んでおり、縄文時代の遺構と推測される。溝跡は時期不明である。また、T2・3・4では表土下に縄文土器を疊らに含んだ暗褐色土層が見られた（層厚10cm）。なお、T1では表土下で黄褐色土（地山）となっており、周辺は削平されていると思われる。

試掘の結果、一部で削平されているものの、工事箇所には遺構・遺物が存在していることが確認された。

(平成24年度、当課が工事立会対応済)



第46図 相川Ⅰ遺跡位置



第47図 相川Ⅰ遺跡調査地点

15 大規模太陽光発電所建設事業

相去遺跡（ME75-1139） *新規登録

所在 地：北上市相去町高前壇地内

事 業 者：岩手県企業局経営総務室

調査期日：平成25年1月10日(木)

3月21日(木)～3月22日(金)

相去遺跡は北上市役所の南西約3.9km、県立北上翔南高校の西南西約0.7kmの牧草地である。調査地の周辺には水田が広がり、北東側には新堤が位置する。

北西側には農道が隣接しており、道路の北西側は住宅地となっている。南約0.5kmには高前壇Ⅰ遺跡、南東0.5kmに高前壇Ⅱ遺跡、北側約0.3kmには葛西壇遺跡が所在している。昭和48年、水田区画整理とともに県教委と北上市が相去地区的試掘調査および一部の発掘調査を行い、今回調査地部分で竪穴住居跡や方形土坑等を検出している。その後、造成工事が行われたことで遺跡の大部分は壊滅したとされており、調査時点では遺跡登録されていなかった。遺跡周辺は、現況では南に向かって標高を下げる棚田状に造成されているが、旧地形では遺跡を南西→北東方向に貫く小河川に向かって南東へと傾斜していたと思われる。

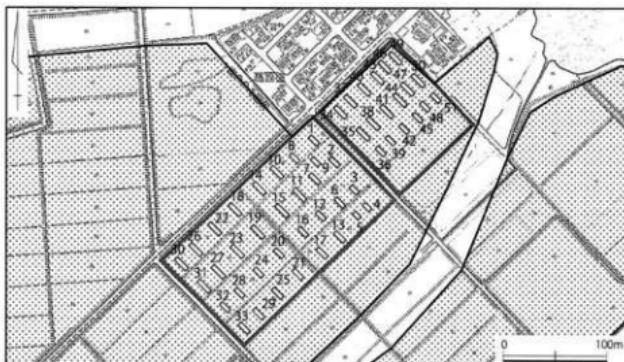
今回の調査は大規模太陽光発電所建設にともなって実施したものである。工事予定の田面にトレチ51箇所を設定した。一部のトレチでは耕作土の下に薄い黒褐色土が見られたが、大多数のトレチでは耕作土・盛土整地層の直下で黄褐色土（地山）が確認された。地山面そのものも削平されおり、所々にキャビラ痕が残る状況であった。遺構はT19で、長さ3m、幅30cm程の溝状を呈する陥し穴1基が検出されたのみである。遺物は全く出土しなかった。

今回の調査範囲は昭和48年調査の調査地点と重なるものであるが、トレチではかつての調査痕跡は確認できず、検出遺構は陥し穴1基のみであった。区画整理工事により遺構・遺物は消失してしまったものと考えられる。



第48図 相去遺跡位置

(平成25年度、当課が発掘調査を実施済)



第49図 相去遺跡調査地点

16 警察施設災害復旧事業

宮野貝塚（NG40-2398）

所 在 地：大船渡市三陸町綾里字宮野地内

事 業 者：県警察本部警務部会計課

調査期日：平成25年2月6日(水)

宮野貝塚は戦前からその存在が知られている遺跡である。過去の発掘調査により、竪穴住居跡や配石遺構が検出され、縄文時代前期～晩期の遺物が多量に出土し、大船渡市により史跡に指定されている。

今回の調査は大船渡警察署綾里駐在所の建設とともに、調査地点は三陸鉄道綾里駅の南約200m、綾里湾奥の台地上（標高約20m）に位置している。調査地の北側に、昭和45年の調査の際に竪穴住居跡や人骨が確認された「E地点」が隣接している。

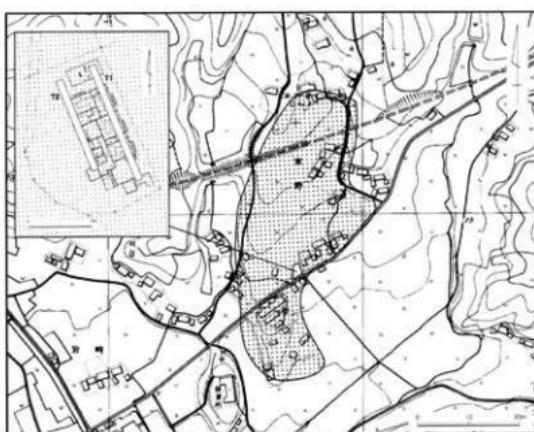
駐在所建物の建設予定範囲にトレント2箇所を設定した。T1では表土・盛土（層厚50～65cm）の下で、縄文時代中期の土器片を多量に含む黒褐色土（層厚35～70cm）が確認された。黒褐色土を除去すると褐色土層（地山）となったが、地山面には数cm程の僅かな段差が見られ、北端部で柱穴状の小穴が検出された。一方、T2でも同様に遺物を含む黒褐色土が見られた。この黒褐色土層は、遺物包含層であるか、竪穴住居等の遺構埋土であるかトレントでは明らかにできなかつたが、地山面の段差や柱穴から考えて、重複する竪穴住居跡の埋土ではないかと推測される。

今回調査地点は、今回や過去の調査成果から見て、縄文時代中期の住居域に相当する可能性が高いと考えられる。

(平成26年度、発掘調査実施予定)

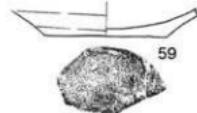
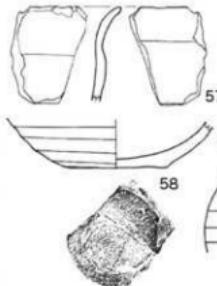
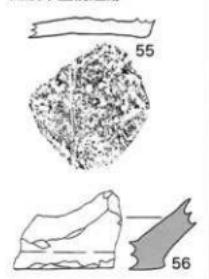


第50図 宮野貝塚位置

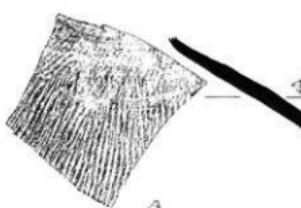
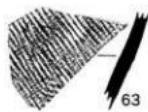


第51図 宮野貝塚調査地点

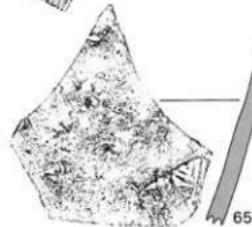
田鎮車堂前遺跡



大日前遺跡



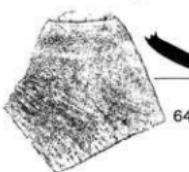
61



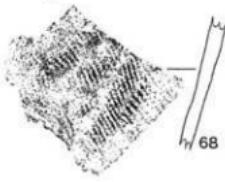
65



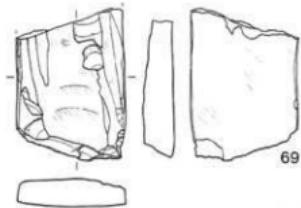
66



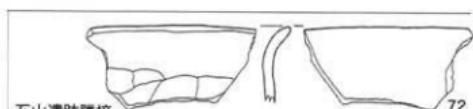
64



68



69

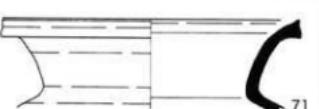


72

松川遺跡

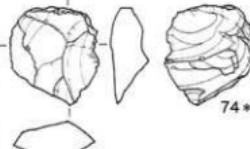


70



71

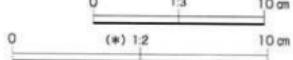
御免遺跡隣接



74*



73



0 1.3 10 cm

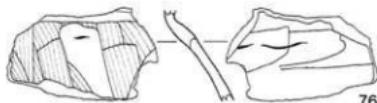
(*) 1:2 10 cm

第52図 試掘調査出土遺物 (1)

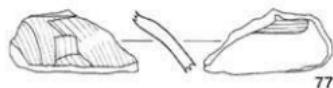
清水下遺跡



75



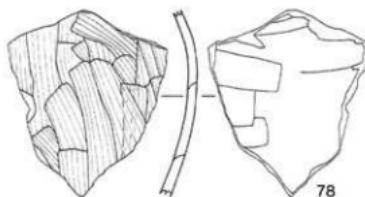
76



77

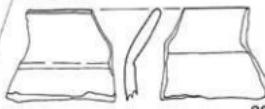


79



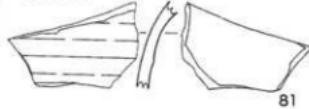
78

漆町遺跡



80

二本木遺跡



81

小瀬川Ⅰ遺跡



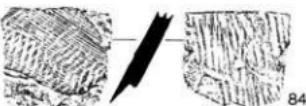
82



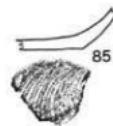
町裏Ⅱ遺跡



83



84



85

相川Ⅰ遺跡



86

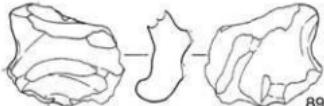


87



88

宮野貝塚



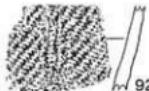
89



90



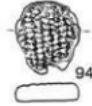
91



92



93



94

0 1:3 10 cm

第53図 試掘調査出土遺物（2）

遺物観察表（2）試掘調査

遺跡名	番号	出土地点	層位	種別	器種	特徴	時代	時期	備考
田舎車堂前	55	T7	Ⅱ層	上師器	甕	底面縁に砂付着（いわゆる砂鉄）。内面はヘラナデで凹凸著しい。	平安		
田舎車堂前	56	T8	Ⅲ層	陶器か	壺	外面に黒色釉（自然釉？）。内面にはコゲ状の付着物。	平安か		
大日前	57	T15	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	甕	外面にスス付着。	平安		
大日前	58	T15	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	坪	クロナデ。底面に回転系切痕。胎土は白っぽく、軟質。	平安		
大日前	59	T15	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	坪	底面に回転系切痕。磨滅。	平安		
大日前	60	T15	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	壺	口縁は突帶状。クロナデ。	平安		
大日前	61	T18	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	大甕	頂部に自然釉。タタキメ。内面に当て具痕。	平安		
大日前	62	T24	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	大甕	タタキメ。内面は粗いナデ。	平安		
大日前	63	T24	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	大甕	タタキメ。胎土赤く、小石含む。	平安		
大日前	64	T39	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	甕	一部に自然釉。ハケメ。	平安		
大日前	65	T106	Ⅱ層（暗褐色土）	陶器	壺	常滑窯。外面に方形の押印2箇所あり。	中世		
大日前	66	T29	Ⅱ層（暗褐色土）	陶文土器	深鉢	原体LR。一部、ナデ。磨滅。	飴文	後期か	
大日前	67	T29	Ⅱ層（暗褐色土）	陶文土器	深鉢	原体LR。一部、ナデ。胎土に小石含む。	飴文	後期か	
大日前	68	T29	Ⅱ層（暗褐色土）	陶文土器	深鉢	原体RL。磨滅。	飴文	後期か	
大日前	69	T16	Ⅱ層（暗褐色土）	石製品	砾石	一部に自然面残る。	古代か		
松川	70	T53	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	甕	ナデ。外面は灰色で硬質だが、内面は褐色で軟質。焼成不良の須恵器か。	平安		
松川	71	T83	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	大甕	口縁部は突帶状。自然釉。	平安		
石山（隣接）	72	T121	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	甕	ナデ。内面は黒色化現。	平安		
石山（隣接）	73	T120	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	坪	底面に回転系切痕。	平安		
鶴見（隣接）	74	T139	Ⅱ層（暗褐色土）	石器	削器		飴文か		
清水下	75	T30	旧河道	上師器	甕	白っぽく、やや硬質。焼成不良の須恵器か。	奈良		
清水下	76	T30	旧河道	上師器	甕	白っぽく、やや硬質。焼成不良の須恵器か。	奈良		
清水下	77	T30	旧河道	上師器	甕	白っぽく、やや硬質。焼成不良の須恵器か。	奈良		
清水下	78	T30	旧河道	上師器	甕	外面は強いナデ。白っぽく、やや硬質。焼成不良の須恵器か。	奈良		
清水下	79	T30	旧河道	上師器	甕	ナデ。底面は再調整。白っぽく、やや硬質。焼成不良の須恵器か。	奈良		
漆町	80	T5	溝跡埋土	上師器	甕	磨滅。胎土赤い。	平安か		
二本木	81	T109	住居跡埋土	上師器	甕	クロナデ。	平安		
小瀬川I	82	T4	耕作土	陶文土器	深鉢	外面ともコゲ付着。底面全体に崩状の貼付（厚さ1mmほど）。底面調整？。腰剥落部分では、縦に側面状の崩落あり。	飴文		
町裏II	83	T42	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	壺	口縁部は突帶状。自然釉。外面にハジケ数箇所あり。	平安か		
町裏II	84	T47	Ⅱ層（暗褐色土）	須恵器	大甕	タタキメ、ハケメ。	平安か		
町裏II	85	T52	Ⅱ層（暗褐色土）	上師器	坪	底面に回転系切痕。	平安		
相川I	86	T4	Ⅱ層（暗褐色土）	陶文土器		不整撫系文か。	飴文	前期	
相川I	87	T2	Ⅱ層（暗褐色土）	陶文土器		原体LR。外面にコゲ、内面には蝶が付着。	飴文	前期	
相川I	88	T2	Ⅱ層（暗褐色土）	陶文土器		原体LR。内面に蝶・コゲ付着。	飴文	中期	
宮野貝塚	89	T1北	Ⅱ層（黒褐色土）	陶文土器	深鉢	口縁部突起。	飴文	中期	
宮野貝塚	90	T1南	Ⅱ層（黒褐色土）	陶文土器	深鉢	2段の連続する側突起。上段は右から、下段は左から側突されている。	飴文	中期	
宮野貝塚	91	T1南	Ⅱ層（黒褐色土）	陶文土器	深鉢	渦巻状の隆線。	飴文	中期	
宮野貝塚	92	T1南	Ⅱ層（黒褐色土）	陶文土器	深鉢	原体RL。	飴文	中期	
宮野貝塚	93	T1南	Ⅱ層（黒褐色土）	陶文土器	深鉢	原体LR。	飴文	中期	
宮野貝塚	94	T2	Ⅱ層（黒褐色土）	土製品	土製盤	原体LR。	飴文	中期	

調査一覧

1 発掘調査

※ ゴシックは 1 章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地	検出品種	面積
1	平成24年7月6日～11日	東北横断自動車道 磐石秋田線（逸野～東和）	国土交通省東北地方整備局 磐手河川国道事務所	深沢野Ⅰ遺跡	逸野市	織文土器（後～晚期）	70
2	平成24年9月24日～26日	経営体育成基盤整備事業 南下越北部地区	県南広域振興農政部農 村整備室長	石田Ⅰ・Ⅱ遺跡	奥州市	土師器、須恵器	12
3	平成24年10月15日 ～16日	経営体育成基盤整備事業 六戸地区	県南広域振興農政部農 村整備室長	赤石遺跡	金ヶ崎町	土坑Ⅰ基	2000
4	平成25年3月11日～15日	村落城内二又線改良舗装事業	野田村地域整備課長	中平遺跡	野田村	堅穴住居跡2棟、土坑2基、 壙穴1基、土師器	180

2 試掘調査

※ ゴシックは 2 章で記載したもの

No.	調査期日	事業名	事業者	遺跡名	所在地
1	平成24年4月10日	主要地方道一岡北上線荒谷地区 道路改良工事	県南広域振興局土木部	荒谷遺跡	奥州市
2	平成24年4月18日	和賀中部水利事業	農林水産省東北農政局 和賀中部農業水利事務所長	南部領伊達領境塚	金ヶ崎町
3	平成24年4月24日	携帯電話基地局新設工事	県南広域振興農政部農 村学習推進室	垂柳遺跡	葛巻町
4	平成24年4月25日	林业地域総合整備事業（地域自立戰略 交付金）森林管理道毛無森路	県北広域振興農政部 二戸森林振興センター林務室	可能性あり①	二戸市
5	平成24年4月26日	地域連携道路整備事業（森下地区）	県南広域振興局土木部 一関土木センター所長	木戸川遺跡隣接地	奥州市
6	平成24年5月28日～29日	地域自立戰略事業（交通安全） 主要地方道一岡北上線	県南広域振興局土木部長	谷地遺跡	奥州市
7	平成24年6月8日	私鉄交通安全施設整備事業	県北広域振興局土木部 二戸土木センター所長	山根日遺跡	九戸村
8	平成24年6月28日	携帯電話基地局新設工事	住田町教育委員会	津村Ⅰ遺跡	住田町
9	平成24年7月17日	下水道施設整備事業	岩手県教育委員会事務局教育企画室	仏沢Ⅰ遺跡隣接地	宮古市
10	平成24年7月23日	一般国道4号水沢東バイパス改善工事	国土交通省東北地方整備局 岩手県川辺川道事務所長	熊之又遺跡	奥州市
11	平成24年7月24日	一関港水害事業（磐井川）	国土交通省東北地方整備局 岩手県川辺川道事務所長	可能性あり①	一関市
12	平成24年7月30日	二級河川近内川総合流域防災事業	岩手広域振興局土木部 宮古土木センター	横川遺跡	宮古市
13	平成24年8月1日	県早来除雪対策事業	県北広域振興局土木部 二戸土木センター所長	尾山Ⅰ遺跡 上尾山Ⅰ遺跡	經米町
14	平成24年8月2日	復旧治山事業 横沢川地区	盛岡広域振興林務部長	横沢Ⅱ遺跡	岩手町
15	平成24年8月7日	和賀中部農業水利事業	農林水産省東北農政局 和賀中部農業水利事務所長	南部領伊達領境塚	北上市
16	平成24年8月23日	予防治山事業	県南広域振興農政部 一関農林振興センター所長	福泉遺跡	一関市
17	平成24年9月21日	道路環境改善事業（交通安全） 一般県道衣川市沢線	県南広域振興局土木部長	上恩宿遺跡	奥州市
18	平成24年10月3日～4日	経営体育成基盤整備事業小瀬川地区	県南広域振興農政部 北上農村整備センター所長	小瀬川Ⅰ遺跡、小瀬川Ⅱ遺跡 専念寺遺跡、堀田遺跡	花巻市
19	平成24年10月12日	民間店舗建築	岩泉町教育委員会	一ツ石遺跡及び隣接地	岩泉町
20	平成24年10月18日	宮吉崎ヶ崎集団施設地区野営場 敷地造成工事	環境省 東北地方環境事務所長	崎ヶ崎遺跡	富吉市
21	平成24年10月19日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部長	大宮遺跡	盛岡市
22	平成24年10月22日	主要地方道一岡北上線荒谷地区 道路改良工事	県南広域振興局土木部長	荒谷遺跡 可能性あり③	奥州市
23	平成24年10月22日～24日 平成24年11月15日	経営体育成基盤整備事業日形地区	県南広域振興農政部 一関農村整備センター所長	小野遺跡、町裏遺跡及び隣接地 可能性あり②～⑤	一関市
24	平成24年10月24日～26日 平成24年10月29日～30日	経営体育成基盤整備事業 郡都3期地区	県南広域振興農政部 藤村整備室長	添町遺跡、清水下遺跡 二本木遺跡、要害遺跡	奥州市
25	平成24年10月29日～30日 平成24年11月13日～14日	経営体育成基盤整備事業	県北広域振興農政部 北上農村整備センター所長	南部領伊達領境塚	北上市
26	平成24年10月31日	北上川流域下水道事業 宮前幹線築造3工区他（管渠工）工事	北上川上流流域下水道事務所長	伝久遺跡隣接地	宇石町
27	平成24年10月31日	和賀中部農業水利事業	農林水産省東北農政局 和賀中部農業水利事務所長	南部領伊達領境塚	金ヶ崎町
28	平成24年11月1日	農地等災害復旧事業	沿岸広域振興農林部 大船渡農林振興センター所長	相川Ⅰ遺跡及び隣接地	陸前高田市

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地
29	平成24年11月6日	一般国道106号宮古西道路 地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局上本部 宮古土木センター所長	田舎車堂前道路隣接地	宮古市
30	平成24年11月16日～9日	経営体育基盤整備事業小瀬川地区	県南広域振興局農政部 北上農村整備センター所長	小瀬川日道跡および隣接地 ダンコ道跡隣接地 太子堂道跡隣接地	花巻市
31	平成24年11月12日	経営体育基盤整備事業 夏川2期地区、夏川3期地区	県南広域振興局農政部 一関農村整備センター所長	石崎日道跡隣接地 両ノ里田道跡隣接地 大塚田道跡隣接地	一関市
32	平成24年11月13日～14日	経営対応基盤整備事業 和賀中郡四地区	県南広域振興局農政部 北上農村整備センター所長	伍太坂Ⅰ遺跡、伍太坂Ⅱ遺跡 矢ノ下台地遺跡、六糸遺跡	北上市
33	平成24年11月14日	郷地帯合整備事業（担い・手支援型）	県南広域振興センターネットワーク農村整備室 二戸農林振興センター農村整備室	大塚道跡 大塚田道跡隣接	二戸町
34	平成24年11月15日～16日	郷地帯合整備事業（担い・手支援型） 男神・米沢・湯田地区	県南広域振興センターネットワーク農村整備室 二戸農林振興センター農村整備室	久保田道跡 可能性あり①	奥州市 東茨城市
35	平成24年11月16日	一般国道4号盛岡北道路改築工事	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長	大前田遺跡、御免遺跡 可能性あり①	盛岡市
36	平成24年11月19日～20日	経営体育基盤整備事業 石山地区	県南広域振興局農政部農村整備室長	松川道跡隣接、石山遺跡隣接	奥州市
37	平成24年11月19日～20日	農用地災害復旧開拓区整理事業 山田地区豊岡根工区	沿岸広域振興局農林部 宮古森林振興センター所長	中井道跡、木戸IV道跡 巻巻川道跡、全く道跡 木戸IV道跡隣接地 可能性あり②	山田町
38	平成24年11月19日～20日	経営体育基盤整備事業鳥島3期地区	県南広域振興局農政部 農村整備室長	漆町道跡	奥州市
39	平成24年11月22日	経営体育基盤整備事業真新田地区	県南広域振興局農政部 農村整備室長	長ヶ森A道跡隣接地	奥州市
40	平成24年11月26日	地域連携道路整備事業 (一般国道282号西脇バイパス)	県南広域振興局上本部 岩手土木センター所長	東部道Ⅱ道跡隣接地	八幡平市
41	平成24年11月26日～30日	経営体育基盤整備事業六原地区	県南広域振興局農政部農村整備室長	可能性あり④～⑤	雄勝町 北上市
42	平成24年11月27日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部 遠野土木センター所長	可能性あり① 可能性あり②	遠野市
43	平成24年11月30日 川又地区	郷地整備事業（経営体育）	県南広域振興局土木課長	馬鹿場IX道跡隣接地 馬鹿場XⅠ道跡隣接地	二戸市
44	平成24年12月3日	地域自立戦略交付金 (草地育成基盤整備事業)	公益社団法人岩手県農業公社理事長	コイド道跡、車門向Ⅰ道跡	葛巣町
45	平成24年12月3日～4日	郷地帯合整備事業（担い・手育成型） 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター農村整備室	上里道跡群	二戸市
46	平成24年12月4日	地域自立戦略交付金 (草地育成基盤整備事業)	公益社団法人岩手県農業公社理事長	本木館道跡	葛巣町
47	平成24年12月6日	経営体育基盤整備事業鳥島地区	県南広域振興局農村農業整備室長	清水下道跡 若青道跡(下ヶ井館)	奥州市
48	平成24年12月7日	校舎耐震化事業	岩手県教育委員会事務局 教育企画長	方八丁道跡	花巻市
49	平成24年12月8日	俵ヶ石川農業水利事業	東北農政局 俵ヶ石川農業水利事業建設所長	えぞ屋敷道跡	花巻市
50	平成24年12月14日	通常砂防事業吉里吉里の沢工区	沿岸広域振興局上本部長	吉里吉里Ⅱ道跡隣接地	大槌町
51	平成24年12月20日	地方特有道路整備事業 花巻北I・JR黒川地区	県南広域振興局上本部 花巻土木センター所長	黒川城	北上市
52	平成24年12月25日	宮古振興断道路	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長	田ノ沢B遺跡	盛岡市
53	平成25年1月10日	大規模太陽光発電所建設事業	企業局経営秘書室長	高前壇遺跡隣接地(相去遺跡)	北上市
54	平成25年1月11日	郷地整備事業（透水作業整備）	沿岸広域振興局農政部 農村整備室長	透水道跡及び隣接地	盛岡市
55	平成25年2月6日	警察施設災害復旧事業 (大船渡警察署震災駐屯所建設事業)	岩手県警新本部警務部会計課長	宮野貴原	大船渡市
56	平成25年2月18日～19日	一般国道106号宮古西道路 地域連携道路整備事業	沿岸広域振興局 宮古土木センター所長	田舎車堂前遺跡	宮古市
57	平成25年2月27日～28日	地域連携道路整備事業	県南広域振興局土木部 一関土木センター所長	柳木城遺跡、可能性あり② 可能性あり①(八幡沖跡)	一関市
58	平成25年3月5日	二級河川近内川治合流域防災事業	沿岸広域振興局上本部 宮古土木センター所長	横川道跡及び隣接地	宮古市
59	平成25年3月7日	郷地帯合整備事業（担い・手育成型） 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター農村整備室長	上平田道跡	二戸市
60	平成25年3月18日	野田村公共下水道管渠施設事業	野田村教育委員会教育長	中平道跡 大平野道跡	野田村
61	平成25年3月21日～22日	大規模太陽光発電所建設事業	岩手県企業局経営秘書室長	相去遺跡	北上市
62	平成25年3月26日	郷地帯合整備事業（担い・手育成型） 男神・米沢・湯田地区	県北広域振興局農政部 二戸農林振興センター農村整備室長	段ノ越遺跡	二戸市

3 分布調査

1 一般国道45号福島市磐坂車線 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 IF79-2344	黒マッカ貝塚	縄文		貝塚	九戸郡洋野町向谷地	平成24年6月7日	影響なし
2 IF89-0314	八森	縄文		散布地	九戸郡洋野町八森・向谷地	平成24年6月7日	要試掘

2 紙单交通安全施設整備事業 -鶴岡舞川地区 岩南広域振興局土木部一関土木センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 NF78-0168	羽場城道路	中世末		城館跡	-一関市舞川字門郷～水無沢	平成24年6月14日	影響なし
2 NE87-0148	蓬田道路	縄文		散布地	-一関市蓬田字門郷～水無沢	平成24年6月14日	影響なし
3 NE77-2283	平石道路	縄文		散布地	-一関市舞川字門郷～水無沢	平成24年6月14日	影響なし
4 NE77-2277	穴の倉道路	縄文		散布地	-一関市舞川字門郷～水無沢	平成24年6月14日	影響なし

3 地域連携道路整備事業青森県地区 岩南広域振興局土木部道野寺土木センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	可能性あり① (赤川II道路近接)				遠野市上郷町	平成24年6月15日	要試掘
2	可能性あり② (赤川II道路近接)				遠野市上郷町	平成24年6月15日	要試掘

4 一般国道45号気仙歩道 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 NF77-1089	岩谷船道跡	近世		城館跡	陸前高田市気仙町	平成24年6月18日	影響なし

5 災害関連緊急砂防事業荒鳥矢沢地区、特定緊急砂防事業鳥矢沢地区、通常砂防事業が矢沢地区 岩南広域振興局土木部岩手土木センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 KE09-0137	横浜古道跡	縄文		散布地	岩手郡岩手町沼宮内	平成24年6月22日	影響なし

6 海岸高潮対策事業八木地区海岸 岩北広域振興局土木部

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 IF69-2380	大平遺跡	縄文		集落跡	洋野町八木	平成24年7月5日	影響なし

7 地域連携道路整備事業、地域道路整備事業 岩南広域振興局土木部

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	なし				奥州市江刺区分限城	平成24年7月10日	
2	なし				奥州市水沢区二渡	平成24年7月10日	
3	豊田遺跡跡地接続				奥州市江刺区中駒	平成24年7月10日	影響なし

8 紙单交通安全施設整備事業地区 岩南広域振興局土木部

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 NE37-1198	本宿逆走道跡	弥生		散布地	奥州市水沢区姫体	平成24年7月18日	影響なし

9 紙单凍雪街対策事業小友地区 岩南広域振興局土木部遠野土木センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 MP62-2253	小友高木道跡	縄文		散布地	遠野市小友町	平成24年7月19日	影響なし

10 基幹水利施設ストックマネジメント事業 岩手2期(太田2工区)地区 岩南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME45-0204	森下道跡	縄文・平安		集落跡	花巻市大田 北上市飯豊	平成24年7月20日	影響なし

11 ため池等整備事業 東ノ日地区 岩南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME53-0094	館森道路	縄文・平安		散布地	北上市鶴見日	平成24年7月20日	影響なし

12 かんかい・排水事業 大曲地区 岩南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME33-2144	横森道路跡	中世		城館跡	花巻市横志田	平成24年7月20日	影響なし
2 ME33-2186	横森田道路	縄文		散布地	花巻市横志田	平成24年7月20日	影響なし

13	ため池等整備事業 高木地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	ME26-2308	坂庭Ⅰ道路	縄文・古代		散布地	北上市駄牛～花巻市高木	平成24年7月20日	影響なし
2	ME26-2367	久田野Ⅱ道路	縄文・古代		散布地		平成24年7月20日	影響なし
3	ME37-2124	乳牛道路	縄文		散布地		平成24年7月20日	影響なし
14	広域河川改修事業千厩川上流地区	県南広域振興局土木部千厩土木センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	NF81-2173	花賀道路	平安		散布地	一関市千厩町奥玉字花賀	平成24年7月26日	要試掘
15	一般国道456号開口地区交通安全施設整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	LE97-2160	上野々道路	縄文・平安		散布地	花巻市石谷町新堀	平成24年7月27日	要試掘
2		可能性あり				花巻市石谷町開口	平成24年7月27日	要試掘
3	ME07-0167	貞の溜Ⅰ道路	縄文・古代		散布地	花巻市石谷町開口	平成24年7月27日	要試掘
4	ME07-0038	桜の森Ⅰ道路	縄文・平安		散布地	花巻市石谷町開口	平成24年7月27日	要試掘
16	一般国道456号開口地区交通安全施設整備事業	県南広域振興局土木部花巻土木センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	LE97-1097	庄野道路				花巻市石谷町新堀	平成24年7月27日	影響なし
2	LE97-2047	百日本道路						影響なし
17	経営育成基盤整備事業内浦地区	県南広域振興局農政部農村整備室						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	NE37-0325	觀音堂Ⅱ道路	縄文時代		散布地	奥州市水沢区黒石野内峠	平成24年8月6日	影響なし
2	NE37-1302	岩手坂神社道路	平安時代		散布地			影響なし
18	森林管理道手原線(第1工区)開設工事	沿岸広域振興局農林部人脈滋森林振興センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1		なし				大船渡市三陸町越喜来	平成24年8月20日	
19	ため池等整備事業新町地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1		天勝船道路隣接地				和賀郡西和賀町内	平成24年8月27日	影響なし
20	経営育成基盤整備事業太田・下巾地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	MD18-0132	太田道路	縄文・平安		散布地	和賀郡西和賀町内宇太田	平成24年8月27日	要試掘
2	MD18-1098	下幡道路	縄文		散布地	和賀郡西和賀町内宇下幡	平成24年8月28日	要試掘
21	経営育成基盤整備事業浜田北部地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	MD38-2274	上畠田道路	古代		集落路	和賀郡西和賀町浜田	平成24年8月27日	影響なし
2	MD48-1218	虎岡船道路	中世		城館跡	和賀郡西和賀町浜田	平成24年8月28日	影響なし
3	MD48-0232	中郷道路	中世		城館跡	和賀郡西和賀町上郷田	平成24年8月28日	影響なし
22	農村災害対策整備事業沢尻内北部・川舟地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	LD99-0078	川舟船道路	中世		城館跡	和賀郡西和賀町内字川舟	平成24年8月28日	影響なし
2	LD99-0162	川舟Ⅰ道路	縄文		散布地	和賀郡西和賀町内字川舟	平成24年8月28日	影響なし
3	ME07-0167	高下Ⅰ道路	縄文		散布地	和賀郡西和賀町内字川舟	平成24年8月28日	箇重工事
23	農村災害対策整備事業沢尻内北部・丸尾田地区	県南広域振興局農政部北上農村整備センター						
	道路コード	道路名	時代	道構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1		安ヶ沢船道路隣接地				和賀郡西和賀町内	平成24年8月28日	影響なし

24 地域連携道路整備事業下荒川地区・荒川地区

沿岸広域振興局土木部

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果考
1 MG92-2067	平林道路	銘文(中開)		散布地	鎌石市下荒川	平成24年8月29日	要試掘
2 MG92-2170	掛台沢道路	銘文(中開・施開)		散布地	鎌石市下荒川	平成24年8月29日	工事立会

25 農村災害対策整備事業東和南・安佐地区

県南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME38-0113	安佐城跡	中世		城館跡	花巻市東和町安佐	平成24年9月13日	影響なし
2 ME28-2198	中嶋道路	平安		散布地	花巻市東和町安佐	平成24年9月13日	工事立会

26 一般国道283号・456号交通安全施設等整備事業前田地区

県南広域振興局土木課花巻土木センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME28-2294	清水原敷道路	銘文・平安		散布地	花巻市東和町土沢6区	平成24年9月13日	要試掘

27 農村災害対策整備事業東和南・幌岬地区

県南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME38-0059	幌原山向道路	銘文・平安		散布地	花巻市東和町安佐	平成24年9月13日	工事立会
2 ME38-0066	大石道路	銘文・平安		散布地	花巻市東和町安佐	平成24年9月13日	工事立会
3 ME38-1143	矢崎道路	銘文・平安		散布地	花巻市東和町安佐	平成24年9月13日	影響なし

28 農村災害対策整備事業東和南・谷内地區

県南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME49-0191	大沢向道路	銘文		散布地	花巻市東和町砂子2区	平成24年9月13日	影響なし

29 純單脚砂防事業 一級河川乙部川筋乙部砂防埝えん丸魚道設置工事

盛岡広域振興局土木部

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 LE47-1367	乙部野道跡	銘文・古代		集落跡	盛岡市乙部	平成24年10月2日	影響なし
2 LE47-1348	乙部船道跡	中世		城館跡	盛岡市乙部	平成24年10月2日	影響なし

30 農地整備事業(経営育成型)星山・大森森地区

盛岡広域振興局農政部農村整備室

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 LE67-1139	間ノ沢道路	不明		散布地	紫波郡紫波町星山	平成24年10月10日	要協議
2	星山農道路接続				紫波郡紫波町星山	平成24年10月10日	影響なし

31 経営育成基盤整備事業外台地区

県南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME36-1147	外台川原道路	古代		散布地	花巻市外台川原	平成24年10月23日	要試掘
2 ME36-1198	十二丁目城跡	銘文・古代		城館跡	花巻市十二丁目	平成24年10月23日	影響なし
3 ME36-0178	Fノ瀬道路	近代		官導貿易の拠点地跡	花巻市板町三丁目	平成24年10月23日	影響なし

32 経営育成基盤整備事業小瀬川地区

県南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME15-1034	小瀬川II道路隣接地	銘文		散布地	花巻市小瀬川	平成24年11月2日	要試掘
2 ME15-1123	ダンコ道路隣接地	不明		坪	花巻市小瀬川	平成24年11月2日	要試掘
3 ME15-1115	太子堂道路隣接地	銘文		散布地	花巻市小瀬川	平成24年11月2日	要試掘
4 ME15-1169	小瀬川道跡	中世		城館跡	花巻市小瀬川	平成24年11月2日	工事立会

33 広域河川改修事業

盛岡広域振興局土木部

道路コード	道路名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	なし				紫波郡矢巾町北矢脇	平成24年11月2日	

34 中山間地域総合整備事業大村地区 熊南広域振興局農政部農村整備室

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 LE42-2063	大谷道跡	縄文		集落跡	寧古町南畠第10地割・第14地割地内	平成24年11月5日	要試掘
2 LE51-0367	大村館跡	中世		城館跡	寧古町南畠第7地割	平成24年11月5日	影響なし
3 LE51-0358	はたふく道跡	縄文		集落跡	寧古町南畠第7地割・第11地割地内	平成24年11月5日	要試掘
4 LE51-0352	馬場館跡	中世		城館跡	寧古町南畠第3地割	平成24年11月5日	影響なし
5 LE51-1302	茂木野道跡	縄文		集落跡	寧古町南畠第5地割	平成24年11月5日	影響なし

35 地域連携道路整備事業一般国道340号久留米地区道路改良工事 熊北広域振興局土木部二戸土木センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 IF92-1048	駄坂3道跡	縄文		散布地	久留米市輕米町山内字駄坂	平成24年11月16日	影響なし
2 IF92-1036	駄坂4道跡	縄文・古代		散布地	久留米市輕米町山内字駄坂	平成24年11月16日	影響なし
3 IF92-1056	まつっこ道跡	縄文・古代		散布地	久留米市輕米町山内字駄坂	平成24年11月16日	影響なし

36 地域連携道路整備事業一般国道340号久留米地区道路改良工事 熊北広域振興局土木部二戸土木センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 JP52-0248	尼ノ木1道跡	縄文		散布地	久留米市郡ノ木村尼田	平成24年11月16日	要試掘
2 JP52-0371	尼ノ木2道跡	縄文		散布地	久留米市郡ノ木村尼田	平成24年11月16日	要試掘
3 JP52-0333	尼ノ木館道跡	中世		城館跡	久留米市郡ノ木村尼田	平成24年11月16日	影響なし

37 地域自立戦略（交通安全事業）一般国道340号山根地区歩道整備工事 熊北広域振興局土木部二戸土木センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	山根館道跡隣接地				久留米市山根町山根	平成24年11月16日	影響なし

38 経営育成基盤整備事業天下田地区 熊南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1 ME15-1289	油戸道路	古代	石器	散布地	花巻市門ノ目	平成24年11月21日	要試掘
2 ME15-1392	下二階道跡	弥生		散布地	花巻市門ノ目	平成24年11月21日	要試掘
3 ME15-2345	天下田1道跡	中世		城館跡	花巻市天下田	平成24年11月21日	影響なし

39 経営育成基盤整備事業北上町地区 熊南広域振興局農政部北上農村整備センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	可能性ありⅠ				北上市和賀町山口	平成24年12月5日	要試掘
2	可能性ありⅡ				北上市和賀町山口	平成24年12月5日	要試掘
3	ME63-0194	八幡館道跡	縄文・弥生・平安・中世	集落跡・城館跡	北上市和賀町山口	平成24年12月5日	要試掘
4	ME63-1252	本郷野道跡	縄文	集落跡	北上市和賀町深瀬	平成24年12月5日	要試掘
5	ME63-2313	法皇野Ⅰ道跡	縄文	散布地	北上市和賀町深瀬	平成24年11月22日	要試掘
6	ME63-2351	法皇野Ⅱ道跡	縄文	散布地	北上市和賀町深瀬	平成24年11月22日	要試掘
7	ME63-2318	保孫道跡	縄文	散布地	北上市和賀町深瀬	平成24年11月22日	慎重工事

40 災害公住宅整備事業 岩土整備部建築住宅課

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	なし				大船渡市赤崎町字沢田	平成25年1月8日	
2	なし				陸前高田市小坂町字西下	平成25年1月8日	

41 地域連携道路整備事業一般県道田野辺岩泉寮堂地区 岩泉土木センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	なし				下伊那郡岩泉町寮場	平成25年3月19日	

42 道路構りょう調査費 (H25地域連携道路整備事業予定) 熊南広域振興局土木部一関土木センター

道路コード	遺跡名	時代	遺構・遺物	種別	所在地	調査日	調査結果
1	可能性あり				一関市灘沢字石法華	平成25年3月27日	要試掘

4 工事立会

No.	調査期日	事業名	事業者	道跡名	所在地
1	平成24年5月11日	地域自主戦略事業（交通安全）歩道設置工事上成沢地区	相南広域振興局土木部 北上土木センター所長	成沢Ⅰ道跡 成沢Ⅱ道跡	北上市
2	平成24年5月24日	経営体育基盤整備事業南下幅北部地区	相南広域振興局農政部農村整備室長	沢田道跡	奥州市
3	平成24年8月8日	一闇清明支援学校（山目校舎）下水道切替事業	岩手県教育委員会事務局教育企画室長	沢田庵寺A道跡隣接	一闇市
4	平成24年9月7日	道路標識設置工事・道路標示塗装工事	相模原本部長	瀬原Ⅰ道跡	平泉町
5	平成24年9月24日	経営体育基盤整備事業南下幅北部地区	相南広域振興局農政部農村整備室長	GIII I・II道跡	奥州市
6	平成24年10月1日	教職員住宅下水道整備事業	相教育委員会事務局教育企画室長	仏沢Ⅱ道跡隣接	宮古市
7	平成24年10月9日	地域自主戦略事業（一般国道397号）	相南広域振興局土木部長	要吉郷道跡隣接	奥州市
8	平成24年10月12日	典地整備事業（通作条件整備） 手代森3期地区	盛岡広域振興局農政部農村整備室長	堀ヶ沢道跡 本宮道跡 迷路道跡隣接	盛岡市
9	平成24年11月2日	磐沢地区駒单泊山（崩壊地復旧）工事	相南広域振興局農政部 花巻農林振興センター所長	福田船道跡	北上市
10	平成24年11月13日	ため池等整備事業 畿農用水路改修工事	相北治岸地域振興局農政部農村整備室長	中田道跡	久慈市
11	平成24年11月14日、 12月17日	基幹水系施設ストックマネジメント事業 岩手3期地区	盛岡広域振興局農政部農村整備室長	室岡船道跡	矢巾町
12	平成24年11月29日	景観形成交通信号機（集中）設置等工事	岩手県警察本部長	瀬原Ⅱ道跡	平泉町
13	平成24年11月30日	県単独雪害対策事業	相北治岸地域振興局土木部 二戸土木センター所長	尾川Ⅰ道跡	軽米町
14	平成24年12月13日	急傾斜地崩壊対策事業内定4丁目・9工区	沿岸広域振興局土木部長	大沢Ⅰ道跡	釜石市
15	平成25年1月16日 ～17日	経営体育基盤整備事業下矢次地区 第7工事（暗渠排水工事）	盛岡広域振興局農政部農村整備室長	高根道跡	矢巾町
16	平成25年1月23日、 1月28日、2月5日	御所発電所下水道新設工事	岩手県企業局施設総合管理所長	北ノ浦道跡	盛岡市
17	平成25年1月23日	典地等災害復旧事業	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター所長	相川Ⅰ道跡	陸前高田市
18	平成25年1月24日	通常砂防事業源太沢の沢(6)工区	沿岸広域振興局土木部長	源太沢道跡隣接	釜石市
19	平成25年2月12日	一般国道46号七ツ森親指改良事業	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所長	平石街道の一里塚 生春一里塚	平石町
20	平成25年2月15日	防災行政情報通信ネットワーク復旧工事	岩手県総務部総合防災室長	輕米道跡	軽米町
21	平成25年2月26日	経営体育基盤整備事業 日形地区	相南広域振興局農政部 一闇農村整備センター所長	小野道跡 町賀Ⅱ道跡	一闇市
22	平成25年3月4日	中山間地域総合整備事業西風高瀬地区	沿岸広域振興局農林部 大船渡農林振興センター所長	下清水道跡隣接地	住田町
23	平成25年3月4日	岩手県企業局大堤公合解体工事	岩手県企業局経営秘書室長	瀧ノ沢道跡 南部飯伊達頭堤壁	北上市
24	平成25年3月22日	村道城内二又岸道路改良事業	野田村長	中平道跡	野田村



深沢野Ⅰ遺跡 調査区 全景（南→）



深沢野Ⅰ遺跡 土層断面（南→）



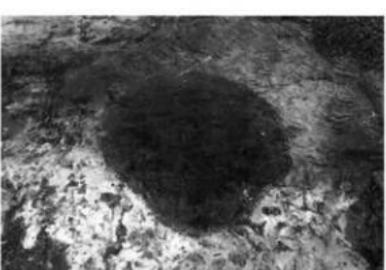
深沢野Ⅰ遺跡 調査状況（南西→）



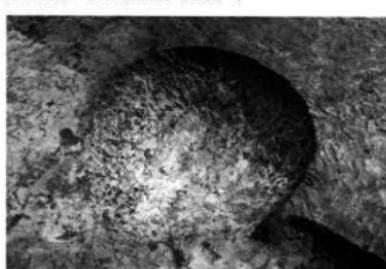
石田Ⅰ・Ⅱ遺跡 調査区（北→）



赤石遺跡 調査区南側（北西→）



赤石遺跡 土坑検出状況（北→）



赤石遺跡 土坑 全景（北西→）



赤石遺跡 土坑 断面（北西→）

写真図版1 検出遺構・調査状況（1）



中平遺跡 調査区（南西→）



中平遺跡 土層断面（北西→）



中平遺跡 1号住居跡 全景（東→）



中平遺跡 1号住居跡 断面（南西→）



中平遺跡 1号住居跡 断面（南東→）



中平遺跡 1号住居跡 貼床断面（南東→）



中平遺跡 2号住居跡 全景（北→）



中平遺跡 2号住居跡 断面（北西→）



中平遺跡 2号住居跡 焼土断面（北西→）



中平遺跡 2号住居跡 貝層検出状況（北→）



中平遺跡 2号住居跡 土器（53）出土状況



中平遺跡 1号陷し穴 全景（南東→）



中平遺跡 1号土坑 全景（南東→）



中平遺跡 1号土坑 断面（南東→）



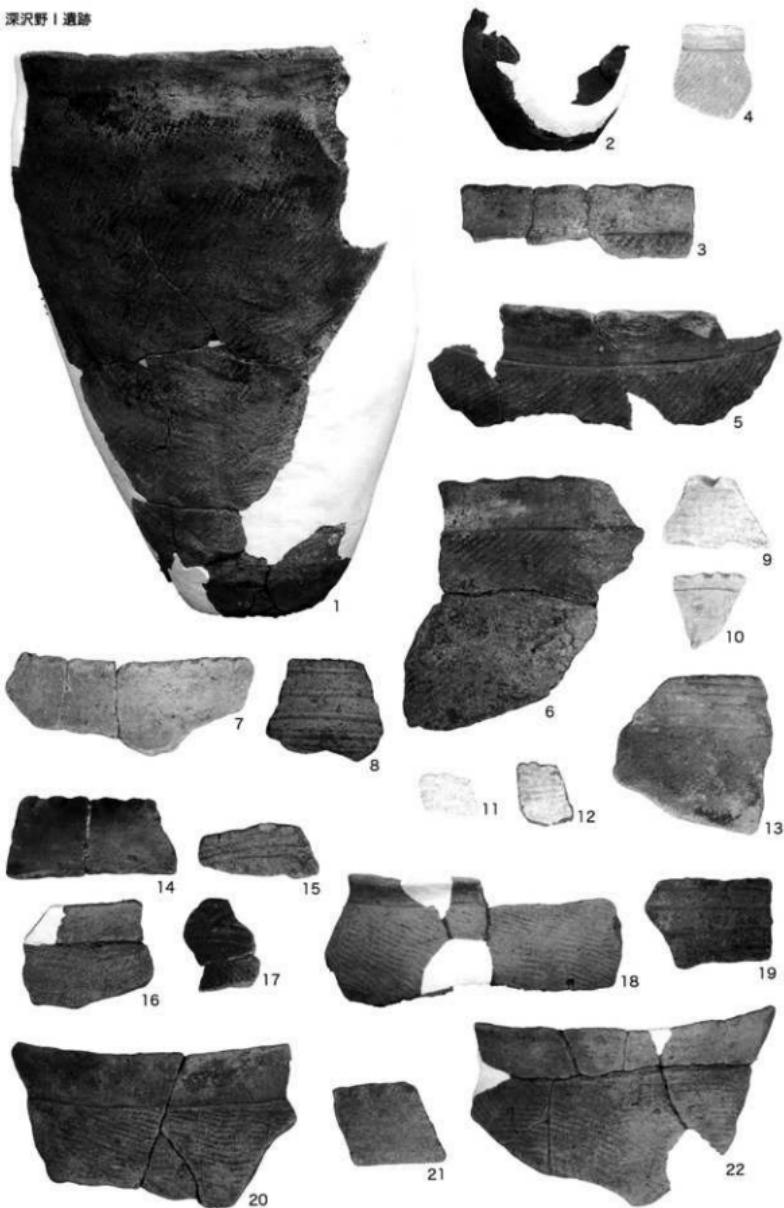
中平遺跡 2号土坑 全景（南西→）



中平遺跡 2号土坑 断面（南西→）

写真図版3 検出遺構・調査状況（3）

深沢野Ⅰ遺跡

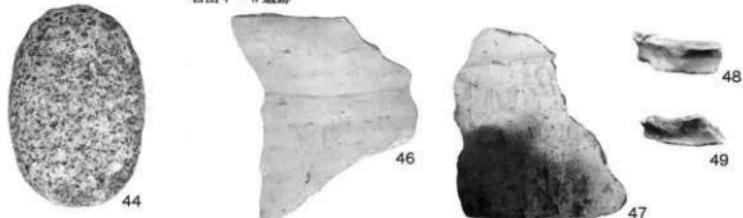


写真図版4 出土遺物（1）発掘調査

深沢野Ⅰ遺跡

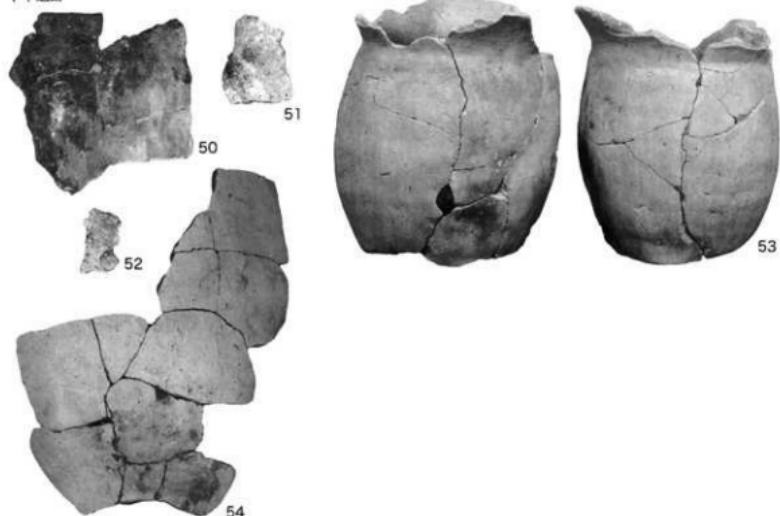


石田Ⅰ・Ⅱ遺跡



写真図版5 出土遺物（2）発掘調査

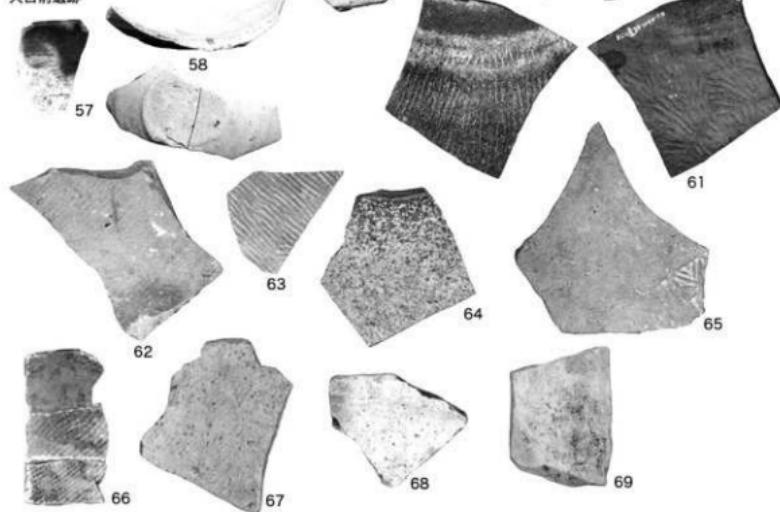
中平遺跡



田舎車堂前遺跡



大日前遺跡



写真図版6 出土遺物（3）発掘調査・試掘調査

松川遺跡



石山遺跡（隣接）



御免遺跡（隣接）



清水下遺跡



漆町遺跡



80

二本木遺跡



81

小瀬川Ⅰ遺跡



82

町裏Ⅱ遺跡

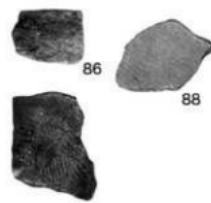


83



84

相川Ⅰ遺跡



86



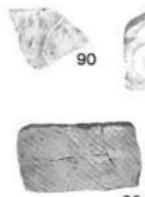
87

88

宮野貝塚



89



90



91



92



93



94

写真図版7 出土遺物（4）試掘調査

報告書抄録

ふりがな	いわてけんないせきはつくつちょうさほうこくしょ
書名	岩手県内遺跡発掘調査報告書
副書名	平成24年度 国庫補助事業
シリーズ名	岩手県文化財調査報告書
シリーズ番号	第138集
編著者名	岩手県教育委員会
編集機関	岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課
所在地	〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1 TEL 019-629-6171
発行年月日	平成26年3月28日

ふりがな 所取遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ふかざわのいら 深沢野Ⅰ いせき 遺跡	とねのしゃやおりちょう 遠野市綾織町 しらあやおりのち 下綾織	03208	NE53- 0276	39度 19分 34秒	141度 27分 53秒	20120706~0711	70m ²	東北横断自動車 道釜石線建設
いじだいものこ 石田I・II いせき 遺跡	おぢしまちうじいさわくくたつた 奥州市胆沢区南都田 あざいじだ 字石田	03215	NE15- 2308	39度 8分 40秒	141度 6分 26秒	20120924~0926	12m ²	農業用給水管埋 設工事
あかいいいせき 赤石遺跡	いさわぐにかねがきまちう 胆沢郡金ヶ崎町 らくはく 六原	03381	ME85- 1041	39度 13分 59秒	141度 3分 50秒	20121015~1016	2,000m ²	は場整備
なかといいせき 中平遺跡	くのへんのだむなむおあざ 九戸郡野田村大字 のだむ 野田第22地割中平	03503	JG60- 0258	40度 6分 12秒	141度 48分 14秒	20130311~0315	180m ²	村道改修工事 (歩道設置)
所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
深沢野Ⅰ遺跡	散布地	縄文時代	なし		縄文土器		後期~晚期の遺物包含層	
石田I・II 遺跡	集落跡	平安時代	なし		土師器、須恵器			
赤石遺跡	散布地	時期不明	土坑		なし		古代か	
中平遺跡	集落跡	縄文時代 平安時代	陥し穴 堅穴住居跡、土坑		土師器、須恵器			

岩手県文化財調査報告書 第138集
岩手県内遺跡発掘調査報告書
(平成24年度 国庫補助事業)

発行日 平成26年3月28日
発 行 岩手県教育委員会
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1
編 集 岩手県教育委員会事務局生涯学習文化課
印 刷 小松総合印刷㈱
〒020-0827 岩手県盛岡市鉢屋町15-4
